

幸福を
実感できる
中核市の
実現

一人ひとりが紡ぐ 希望あふれるまちづくり

中核市サミット

2025 福井

パネルディスカッション資料



目次

幸福を実感できる中核市の実現
～一人ひとりが紡ぐ 希望あふれるまちづくり～

中核市サミット 2025 福井 パネルディスカッション

第1会場 スポーツを通じた楽しいまちづくり

富山市	4～12P
西宮市	14～24P
福井市	26～36P

第2会場 地域に密着した安心な福祉体制のあり方

岐阜市	40～50P
豊田市	52～62P
松江市	64～73P

第3会場 『元気×イノベーション』～未来を創る地域づくり～

山形市	76～85P
八王子市	86～94P
吹田市	96～106P

第1会場 発表資料

第1会場

スポーツを通じた楽しいまちづくり

コーディネーター



よしむら ともりの
吉村 朋矩氏

福井工業大学
工学部
建築土木工学科
教授

1986年、大津市生まれ。福井工業大学大学院修了。FUTまちづくりデザイン副センター長、博士（工学）。専門分野は「交通計画」、「地域・都市計画」。現在、国土交通省中部運輸局中部交通スペシャリスト、福井河川国道事務所「福井都市圏における道路交通のサービス改善に向けた検討会」委員、福井県自転車活用推進会議会長等。土木学会土木の魅力向上特別委員会WG委員等を歴任。

コメンテーター



おばら さわこの
小原 爽子氏

株式会社日本経済研究所
執行役員
公共デザイン本部副本部長
兼インフラ部長

1971年、岩手生まれ。北海道大学法学部卒業、神戸大学国際協力研究科国際開発専攻修了。日本経済研究所入所後、公共施設の官民連携事業（PPP/PFI）を中心に、官民へのコンサルティング業務に従事。近年は、スポーツ施設や都市公園における官民連携事業に取り組み、国・地方自治体における検討委員等を歴任。専門は、PPP/PFI、スタジアム・アリーナ事業、スポーツと地域活性化。

パネリスト

富山市 藤井 裕久 市長

西宮市 石井 登志郎 市長

福井市 西行 茂 市長

趣旨

国はスポーツを成長産業として位置付け、「する・みる・支える」という観点から様々な取組を行っています。東京オリンピック・パラリンピックやコロナ禍を契機とする社会状況の変化等から、スポーツそのものが持つ価値や、社会の活性化に寄与するスポーツの価値が再認識されています。

本パネルディスカッションでは、スポーツを通じてつながる、楽しむことに加え、スポーツと他分野との融合による地域課題の解決や地域活性化の取組等、中核市の事例発表を踏まえて「スポーツを通じた楽しいまちづくり」について議論を深めます。

富山市

藤井 裕久 市長



R7.10.30
中核市サミット2025 in 福井

スポーツを活かした 富山市のまちづくり

富山市長
藤井 裕久

TOYAMA CITY

富山市の概要

■2025年4月1日、2005年の旧7市町村の合併による「新富山市」の誕生から、20周年という節目の年を迎えた。

- ✓人口は、富山県全体の約4割の413,938人(2020年国勢調査)
- ✓面積は、富山県全体の約3割の1,241.74km²
- ✓海拔0m(富山湾)から2,986m(水晶岳)までの多様な地形
- ✓医薬品、電子部品、機械関連産業等の製造業を中心としたものづくり産業が集積
- ✓2025年度一般会計予算額は、約1,955億円



TOYAMA CITY

ニューヨーク・タイムズ「2025年に行くべき52か所」に選定

本年1月7日に、富山市がニューヨーク・タイムズ紙が発表した、世界の「2025年に行くべき52か所」に選定され、国内外からの注目が高まっている。

「混雑を回避しながら文化的な感動とグルメを味わえる」



【富山市ガラス美術館】

【おわら風の盆】

【とやまのすし】

TOYAMA CITY

富山市のコンパクトなまちづくり

公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり

<概念図>

お団子と串の都市構造



串：一定水準以上のサービスレベルの公共交通
 お団子：串で結ばれた徒歩圏

1
公共交通の
活性化



■富山ライトレール ■市内電車環状線化 ■路面電車南北接続
 ■JR高山本線・地鉄不二越・上滝線活性化 ■おでかけ定期券 など

2
公共交通
沿線地区への
居住推進



■都心地区・公共交通沿線地区での住宅供給や新築・購入を支援 ■公共交通指向型開発(改札新設、民間連携開発)

3
中心市街地の
活性化



■グランドプラザ ■TOYAMAキラリ ■トランジットモール社会実験

TOYAMA CITY

富山駅の路面電車南北接続の開通(2020年3月21日)

- ✓1908年(明治41年)に富山駅が現在地で開業以来、長年に渡り、鉄道によって市街地が駅南北に分断。
- ✓2015年3月の北陸新幹線開業にあわせ、富山駅南側の富山軌道線と北側の富山港線を新幹線・在来線高架下で接続することにより、『富山市民100年の夢』であった、南北市街地の一体化が実現



南北接続後の「駅北エリア」での文教施設等の整備

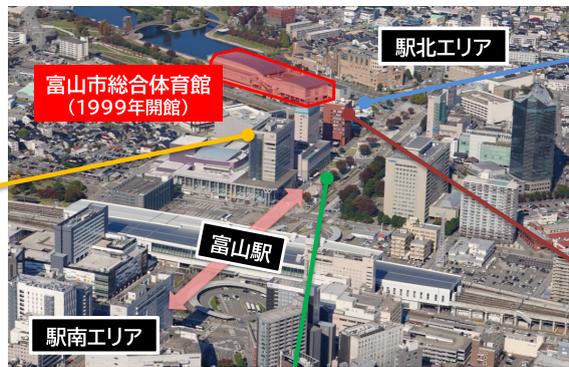
- ✓南北接続後、駅北エリアの重要性や価値が、これまで以上に高まり、市において、「3×3バスケットボールコート」や「中ホール」、ウォークアブルな街路空間として「広場」を整備した。
- また、市所有の土地に、民間投資により「スケートパーク」が整備。



スケートパーク(民間整備)
2023年8月オープン



中ホール(文化施設)
2024年7月オープン



3x3バスケットボールコート
2021年3月オープン



富山市プールパル広場
2024年3月再整備完了

TOYAMA CITY

富山市総合体育館Rコンセッション事業

✓ 駅北エリアにおいて、2000年とやま国体の開催に合わせて、1999年に建設された「富山市総合体育館」の長寿命化と収益化への対応が課題。2016年から「富山グラウジーズ」のホームアリーナとしても使用。

■Rコンセンション事業の導入背景

(施設の課題、周囲の状況)

- ・施設の老朽化(築25年以上)、維持管理費、収益化
- ・コンパクトシティ戦略への貢献(南北一体的まちづくり)
- ・様々な施設が整備、集積する「駅北エリア」に立地 等



①国の「スタジアム・アリーナ改革」の推進

※アリーナによる「まちづくり」に寄与する施設へ

②室伏スポーツ庁長官との意見交換

※官民連携による民間活力の導入可能性について

③富山グラウジーズのBプレミア参入表明



富山市総合体育館(外観・現況)



Rコンセッション事業の実施決定

【期間:15年、事業費:約80億円】

※既存体育施設では、日本初のスキーム

TOYAMA CITY

「駅北エリア」での「富山グラウジーズ×民間」との連携活動

✓ 富山駅周辺で活動する、まちづくり団体や企業を中心とした組織「一般社団法人トヤマチミライ」が2024年5月に設立。本市や富山グラウジーズも連携し、駅北エリアの賑わいを創出



ホームゲーム開催時にのぼり旗



ホームゲーム開催時にブース出展



富山市総合体育館(試合)



アンバサダー任命式



富山市駅内イベント



3×3バスケットコート

TOYAMA CITY

富山市総合体育館Rコンセッション事業

✓2025年3月、スポーツ庁及び経済産業省が選定する「**令和6年度多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ**」に選定。

■評価ポイント

- ①国内のアリーナでは初となる「**Rコンセッション**」方式を導入
- ②Bリーグを開催する一方、平常時は市民スポーツの場として活用する「**みる**」スポーツと「**する**」スポーツの「**共用型**」アリーナのモデル



R7. 8月表彰式



アリーナBリーグ開催時(イメージ)



アリーナー一般開放時(イメージ)



ラウンジ(イメージ)

■YKK AP(株)との「ネーミングライツ・パートナー」契約

体育館の新名称

YKK AP ARENA

✓契約期間は、2026年10月1日～2031年9月30日(5年間)



TOYAMA CITY

「マイナビオールスターゲーム2026」 開催に向けた機運醸成事業



プロ野球「マイナビオールスターゲーム2026」の開催日が**令和8年7月29日(水)**に決定！富山市民球場でのオールスターゲームの開催は、30年ぶり。

※開催日は、7月23日開催の**1年前プレイベント「パブリックビューイング(第1戦)」**の会場において、ゲスト解説の糸井嘉男さんと共にサプライズで発表し、カウントダウンボードを設置。

※翌24日には、横浜スタジアムでの「**オールスターバトンタッチ・フラッグセレモニー**」に参加。



パブリックビューイング (R7. 7. 23)



横浜スタジアム (R7. 7. 24)

TOYAMA CITY

「マイナビオールスターゲーム2026」開催に向けた機運醸成と 富山市民球場の整備



・オールスターゲームの開催決定を受け、まち全体を「ボールパーク化」し、北陸全域での機運醸成を高めるため、「ボールシティとやまプロジェクト実行委員会」を設立し、野球教室等の事業を震災復興支援も兼ねて、実施。

・また、オールスターゲームの会場となる、築30年以上の「富山市民球場(アルペンスタジアム)」について、「スコアボードのLED化」や「人工芝の全面張替」などを実施。



R7.6野球教室

本年6月に、中畑清さんを講師に招いて実施した野球教室では、能登半島地震の被災地である七尾市からも親子を招待した。



スコアボードLED化



人工芝の全面張替

TOYAMA CITY

県内プロスポーツチームとの連携した取組

富山県には、サッカー、バスケットボール、野球、ハンドボール、バレーボールなどのプロ・トップリーグで活躍するスポーツチームが存在

■ 地元チームのPRや富山市民デーの実施



富山市役所1階



富山市の日



■ 地元チームと連携事業



試合後のファン交流



行政×民間×プロチーム



TOYAMA CITY

多様なスポーツ環境の整備による交流人口の増

市内には、市内外から若者の呼び込みが期待できる、「3×3コート」や「スケートパーク」、マウンテンバイクが走行できる「専用サイクルパーク」などの**アーバンスポーツ**のほか、地理的特性を活かした**アウトドアスポーツ**にも気軽に楽しめる環境を整備。



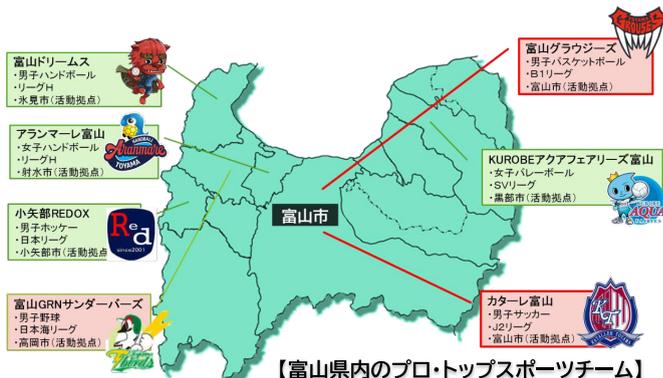
TOYAMA CITY

富山県スポーツコミッションとの連携

令和7年5月16日、県内15市町村、スポーツチーム、スポーツ団体、経済団体、教育機関、観光関係の団体が参画し、スポーツを軸に人や地域を相互に繋げ、**関係人口の創出と地域活性化**に取り組むことを目的とした「**富山県スポーツコミッション**」が新たに発足。

※富山県内には、7つのプロ・トップスポーツチームが活動(富山市内は、2チーム)

⇒今後、県コミッションと連携し「YKK AP ARENA」や「オールスターゲーム」の事業効果を県内全体に波及させるほか、「大規模スポーツ大会の誘致」やスポーツチームとの連携による「マルチスポーツの促進」、「アーバンスポーツ」の利用促進などに取り組む。



TOYAMA CITY



YKK AP ARENA

2026年10月 OPEN

AMAZING TOYAMA

TOYAMA CITY

西宮市

石井 登志郎 市長

スポーツを通じた 楽しいまちづくり

西宮市

西宮市の紹介



西宮市
キャラクター



西宮市キャラクター
みやたん
TEKU² WAKU² NISHINOMIYA
© 西宮市

西宮市の紹介



住みたい・住み続けたい街 トップクラス



関西学院大学



阪神甲子園球場



阪急西宮ガーデンズ



福男選び(西宮神社)



夙川 さくら



名塩斜行エレベーター

西宮市の紹介



令和7年度
市制施行100周年を迎えました



スポーツを通じた 楽しいまちづくり

スポーツ推進

地域
活性化

未来へ

西宮市

スポーツ推進

それぞれの課題

- 「する」スポーツ
活動困難な地域がある
- 「みる」スポーツ
スポーツへの関心低下
観戦から参加への人数低下
- 「ささえる」スポーツ
参加者の高齢化や固定化
指導者の確保や連携が困難
- スポーツ施設
設備・機器が不十分
利用者の偏り



西宮市スポーツ推進計画

基本
理念

誰もが運動・スポーツに親しみ、
運動・スポーツ活動を通じた、
健康づくりや交流が活発なまち 西宮

日常に運動・ス
ポーツを取り入る
「する」「みる」
「ささえる」
活動の推進

つくる
はぐくむ

運動・スポーツ交
流を通じた共生社
会の実現

誰もが
アクセスできる

運動・スポーツを
支える基盤・ネッ
トワークづくり

【一例】
アスレチック・
リエゾン・西宮

あつまり、ともに、
つながる

アスレチック・リエゾン・西宮



アスレチック・リエゾン・西宮



アスリート先生派遣事業

- スポーツ教室・講演会
- 活動のメイン事業
- 運営はリエゾン事務局
- 9つの競技に対応
- 費用無料

令和6年度だけで、市内の小・中学校にて40回開催
2,500人が参加しました



スポーツを通じた 楽しいまちづくり

スポーツ推進

地域
活性化

未来へ

西宮市

地域活性化

西宮市内 各地域の人口推移予測(30年)

地域名	2015年(A)	2045年(B)	比率(B/A)
山口地域	17,533人	12,365人	70.5%
塩瀬地域	26,901人	18,740人	69.7%
本庁地域	203,719人	205,412人	100.8%
甲東地域	68,072人	63,960人	92.6%
瓦木地域	75,570人	77,966人	103.2%
鳴尾地域	96,055人	63,960人	66.6%

スポーツ × 官民連携 = 地域活性化 ↑

年間を通じてスポーツやアウトドアを楽しめる環境を創出する！！

- ① 365日賑わいのあるボールパークエリア
- ② 産官学民一体となったイベント・情報発信

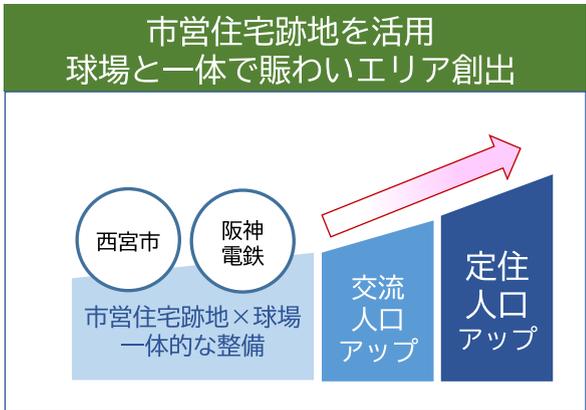
鳴尾地域の課題

- 主に甲子園エリア(阪神甲子園球場周辺)
- ・市内人口減少率1位の予測
- ・「野球」以外の掘り起こしが急務

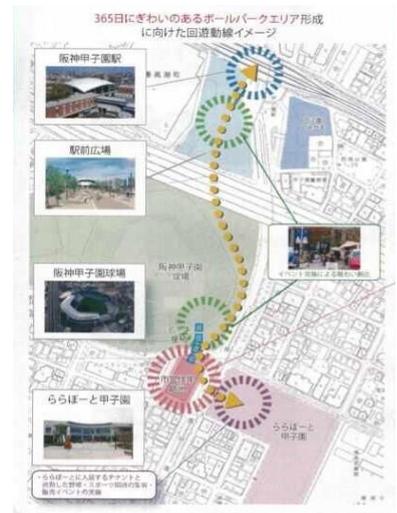
地域活性化



① ボールパークエリア整備



駅～球場～市営住宅跡地～商業施設



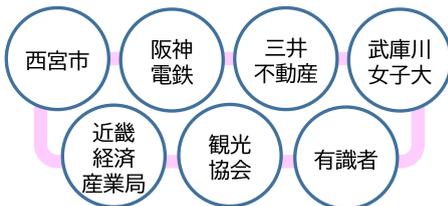
地域活性化



② 産官学民一体となったイベント・情報発信

スポーツを核とした甲子園エリア
活性化推進協議会を発足

構成団体 (全7団体)



地域一体で賑わいエリア創出



地域活性化



室伏スポーツ庁長官表彰
スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰2021 優良自治体

協議会の取組が高く評価されました



関西圏で
唯一の受賞



スポーツを通じた 楽しいまちづくり

スポーツ推進

地域
活性化

未来へ

西宮市

部活動の地域展開



どのように進めていくべきなのか…



市長



教育長

地域展開に取り組むならば、
文化スポーツの飛躍にしたい！

みんなが一丸となってチャレンジする、
そんなメッセージを発信したい！

より前向きになってもらうには、
スポーツトップチーム・アスリートの
助力がほしい！

部活動の地域展開



コンセプトは
プレイ

【楽しむこと】
【やってみたい】
プレイにしのみや



プレイみや
PLAY NISHINOMIYA

子供から大人まで
幅広い世代が自ら
主体的に選択

西宮での
活動を楽しめる
ように

中学校 部活動の地域展開は
R8.9 平日/休日の一斉実施を決定！



部活動の地域展開



部活動地域展開に関する連携協定を締結（4チーム×市）



スポーツ施設



- R7 着工
- R10 新陸上競技場 供用開始
- R11 新中央体育館 供用開始
- R14 公園全体 供用開始
- スポーツ推進計画 進展に寄与と 大きく期待



スポーツを通じた 楽しいまちづくり

西宮市

福井市

西行 茂 市長

1. 福井市の紹介



- ◆人口 252,463人
(県全体の約1/3)
- ◆世帯 109,193世帯
- ◆面積 536.41km²
(県全体の約13%)



越前海岸



足羽川桜並木



養浩館庭園



一乗谷朝倉氏遺跡



冬の味覚 越前ガニ



福井市発祥 コシヒカリ

「住みよさランキング2025」
全国総合 1位

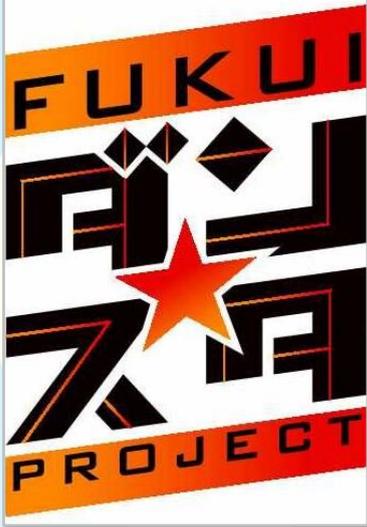
(東洋経済「都市データバック」編集部発表)

安心度、利便度、快適度、富裕度の4つの視点と
20の指標で評価

2-1. 「福井ならではの」ダンスの活用



市長ビジョン
ふくいには 楽しい 元気 安心 心気



強み (特色)



福井商業高校チアリーダー部 JETS



2023年3月
地域活性化連携協定締結

LDH JAPAN

2-2. FUKUI ダン☆スタ PROJECTとは

ダン☆スタ FUKUI

まちなかでダンスを
見て、踊って、楽しむイベント



ダンスSEEDSプログラム

ダンスに興味をもってもらうための活動
* ダンスの種まき



3

2-3. ダン☆スタ FUKUI

春



ふくい
桜まつり

夏



ふくい
フェニックスまつり

秋



ふくい桜マラソン



ワンパークフェスティバル



大きなイベントのない秋に
福井を代表するイベントを目指して・・・

ダン☆スタ FUKUI 2025

10月11日・12日開催



4

2-4. ダン☆スタ FUKUI 2025の様子

まちなかをダンス一色へ

ブレイキン



ヒップホップ



チアダンス

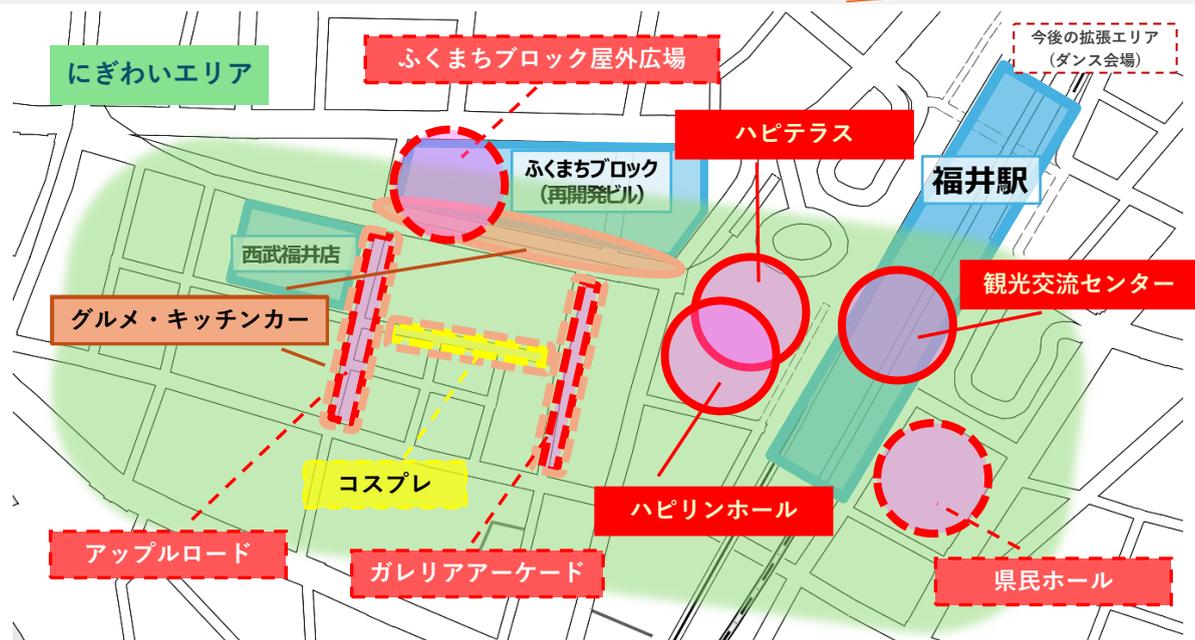


ダンス
コンテスト

特別ステージ

2-5. ダン☆スタ FUKUIの今後の展望

まちなかをダンス一色へ



2-6. ダンスSEEDSプログラム

ダンスの楽しさをこども達へ

子どもや若者を中心に「ダンス」の人気の高い
体育の授業で「ダンス」が必須

中学生に対し、ダンスレッスン(LDH JAPANの協力)
ダンスに興味を持ち、見て、体験して、取り組んでもらう
(ダンスの種まき)



森田中学校でのダンスレッスン

7

3-1. ふくい桜マラソンの開催

ふくい桜マラソンの概要

1 概要

○本市と坂井市に跨る、大規模な都市型フルマラソン。

第1回大会：令和6年3/31（日）

第2回大会：令和7年3/30（日）

第3回大会：令和8年3/29（日）

2 大会コンセプト

○福井発の全国に誇れる **とんがった大会**

3 大会アンバサダー

○プロマラソンランナー、大迫傑



©「ふくい桜マラソン2026」ランナー募集ポスター



8

3-2. 参加者の満足度等

大会参加者の詳細

【令和5年度】

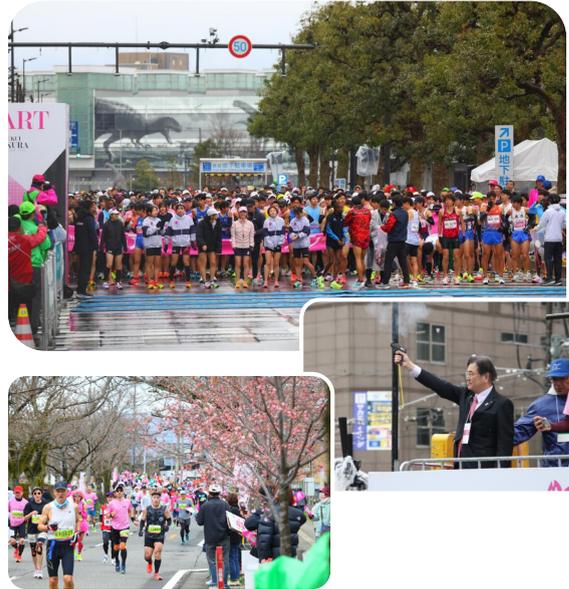
参加者：15,341人（エントリー数）

【令和6年度】

参加者：15,447人（エントリー数）

高い大会満足度！

- 高い！ランナー満足度：89.4点
- 高い！次回大会への参加希望：94%
- 高い！ボランティア等のおもてなし評価



9

4-1. スポーツコミッションの推進

本市におけるスポーツコミッション

○ スポーツを通じた地域活性化を目的に、本市をホームタウンとして活動する、地元トップスポーツチームと連携

包括連携協定の締結

- バスケットボールチーム 「福井ブローウィンズ」
- サッカーチーム 「福井ユナイテッドFC」

▼
全庁的な連携事業がスタート！



10

4-2. 福井ブローウィングスとの連携



福井市・熊本市姉妹都市提携30周年記念試合

▶ 福井ブローウィングスと熊本ヴォルターズとの公式戦を、本市と熊本市の姉妹都市提携30周年を記念し開催しました！



パブリックビューイング in ハピテラス

▶ 福井ブローウィングスのB2プレーオフ初出場を記念し、福井駅前のハピテラスにてパブリックビューイングを開催しました！

11

4-3. 福井ユナイテッドFCとの連携



福井市×福井ユナイテッドFC 福井市民応援デー

▶ 福井ユナイテッドFCの公式戦を「福井市民応援デー」と位置付け、市民が一丸となって応援できる機会を提供。



福井市×福井ユナイテッドFC 福井市ホームタウンデー

▶ 福井ユナイテッドFCのホームゲームに合わせて、縁日ブースの設置やステージイベントを行う「福井市ホームタウンデー」を開催。

12

4-4. 若者による地元スポーツチームの魅力発信

若者と連携した地元スポーツチームの魅力発信

▶ 今年度から、福井の若者（高校生・大学生、社会人）と連携し、福井ブローウィングス、福井ユナイテッドFCの魅力発信企画がスタート！若者が企画・撮影・編集した映像を、市公式SNS等にて広く発信し、市民の地元スポーツチームに対する応援機運醸成を図っています。

福井ブローウィングス選手へのインタビュー映像の制作



福井ユナイテッドFC選手との試合告知映像の制作



13

5-1. アリーナ整備構想



14

5-2. アリーナ構想の概要①

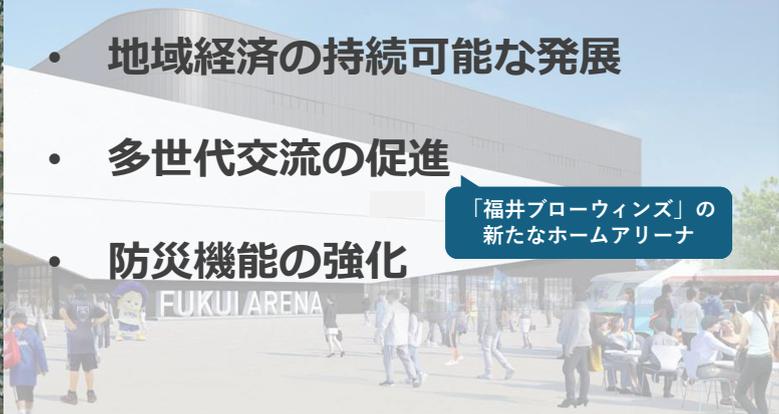
1 立地



2 整備目的

- 交流人口拡大とにぎわい創出
- 地域経済の持続可能な発展
- 多世代交流の促進
- 防災機能の強化

「福井ブローウィンズ」の
新たなホームアリーナ



15

5-3. アリーナ構想の概要②

3 整備概要

延床面積	約13,000㎡
施設機能	メインアリーナ、サブアリーナ、その他属諸室
席数	プロスポーツ：約5,000席 コンサート：約4,500席

4 用途

用途	利用日数
プロスポーツ	63日 + a
コンサート	24日 + a
MICE	60日 + a
県民利用 市利用	134日
合計	296日 + a



県民利用・市利用（地域の運動会）

県民利用・市利用（はたちのつと）

16

6. まとめ



スポーツが描く
新しいまちの景色

1. 福井ならではのダンス

2. ふくい桜マラソン

3. スポーツコミッション

4. アリーナ整備構想

もっと 楽しい
ふくいは 安心
元気

ご清聴ありがとうございました



16

第 2 会場 発表資料

第2会場

地域に密着した安心な福祉体制のあり方

コーディネーター



ながい ゆうこ
永井 裕子氏

福井県立大学
看護福祉学部
社会福祉学科
准教授

日本福祉大学実習教育講師、明治学院大学助手を経て、2014年より福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科助教、2025年より現職。福井市をはじめとする県内8市町の地域福祉計画策定に携わる。地域共生社会の構築に向けた地域づくりに関して、過疎地域に居住する高齢者の生活支援や子ども食堂におけるこどもの主体形成をテーマに、主に県内の実践をふまえて研究を進めている。

コメンテーター



きくち よしのぶ
菊地 吉信氏

福井大学大学院
工学系部門
准教授

1974年、愛知生まれ。福井大学大学院博士後期課程修了。博士（工学）。福井大学助手を経て2009年より現職。専門は住環境計画で、地方都市における近隣生活空間の再構成を主な研究課題とする。2018年ふるさとづくり大賞総務大臣賞受賞（福井大学住環境計画研究室として）。近著に「建築・まちづくりのための空き家大全」（共著、学芸出版社）がある。

パネリスト

岐阜市 柴橋 正直 市長

豊田市 太田 稔彦 市長

松江市 上定 昭仁 市長

趣旨

わが国では、人口減少や少子高齢化により、地域や家庭等の生活領域における支え合い機能の低下や、人と人とのつながりの希薄化、福祉ニーズの多様化が進み、包括的な支援体制による対応が求められています。

本パネルディスカッションでは、だれもが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせる「地域共生社会」の実現を目指すため、重層的支援体制整備事業等に加え、福祉の観点を取り入れたまちづくりの取組等、中核市の事例発表を踏まえて「地域に密着した安心な福祉体制のあり方」について議論を深めます。

岐阜市

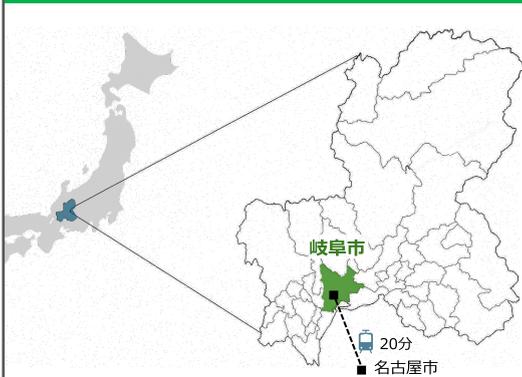
柴橋 正直 市長



すべての人に 「居場所」と出番を ～ひきこもり支援の取り組み～

岐阜市長 柴橋 正直

岐阜市の紹介



人口399,127人 (R7.1.1現在) 面積203.6km²

■ 年齢構造



■ 社会動態 【対全国転出入（※日本人のみ）】

R6 : 212人 R5 : 146人 R4 : ▲219人 R3 : ▲40人 R2 : 174人
総務省「住民基本台帳人口移動報告」より

【岐阜市の魅力】

ぎふ長良川の鞠闘



岐阜城



岐阜城楽市 (Park-PFI)



中部圏で
住みたい街 No1 !



中部圏版 2025年 LIFULL HOME'S
みんなが探した！住みたい街ランキングより

ひきこもり支援の現状と課題

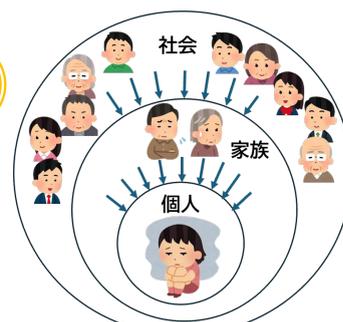
ひきこもりの状態にある方の状況

- ・ 50人に1人 全国で約146万人がひきこもりの状態 (R4 内閣府調査)
- ・ ひきこもりの潜在化、長期化により、社会から孤立

親も子も高齢化する **8050問題**へ

国の支援の方向性

- ・ 身近な基礎自治体における支援の充実
- ・ 支援の対象者の拡大

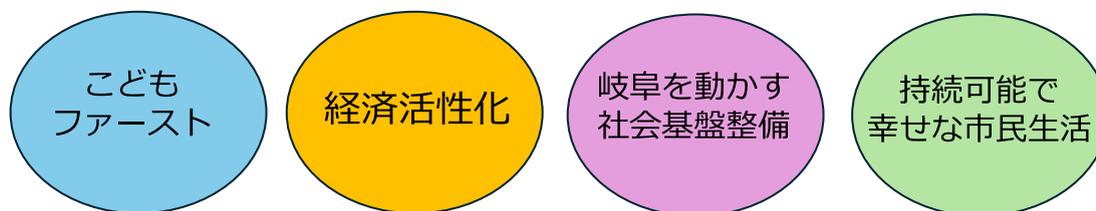


参考：齋藤環「社会的ひきこもり」
PHP研究所、1998年

3

岐阜市の政策方針

4つの政策ベクトル (令和7年度)

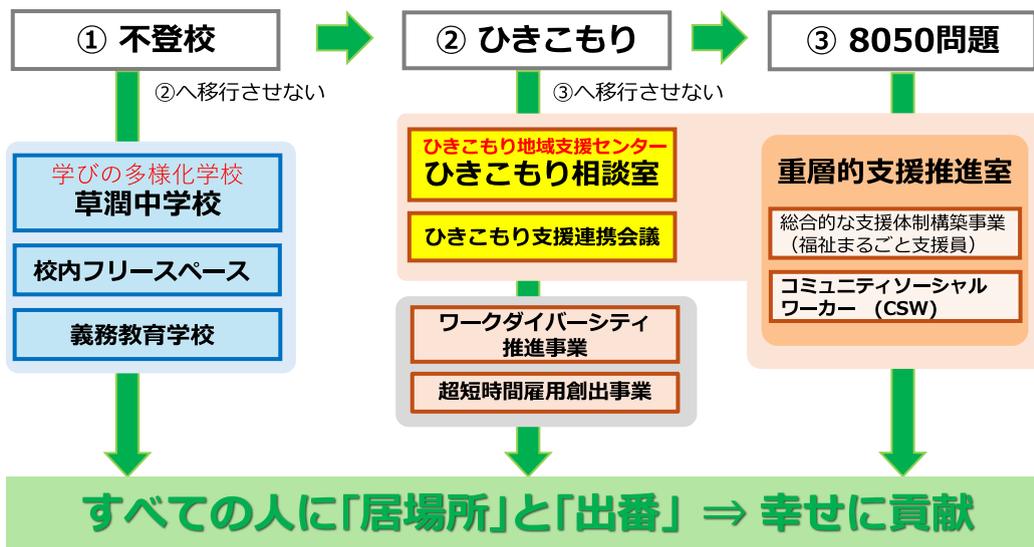


政策ベクトル **「持続可能で幸せな市民生活」**
「不登校・ひきこもり・8050問題」を一体的な課題として
その課題解決に取り組む

4

岐阜市の政策方針

現代社会の課題解決に向けた取り組み体制



5

岐阜市のひきこもり支援の取り組み

ひきこもり相談室の設置

- 専門の相談窓口を保健所（精神保健）から市庁舎内の福祉部ひきこもり相談室へ



相談しやすい環境整備により、相談のハードルを下げる

- 専門の相談員（保健師、精神保健福祉相談員）2名が多様な方法で相談対応（アウトリーチ、オンライン相談、出前相談等）
- ひきこもり相談室に居場所の機能を付与し
ひきこもり地域支援センターとして位置づけ

6

岐阜市のひきこもり支援の取り組み

岐阜市の特長

令和
5年度

ひきこもりの支援を**専門**とする部署の**新設**

令和
7年度

ひきこもり地域支援センターの設置

(令和4年度に設置主体が市町村に拡大)

- ①相談支援
- ②居場所づくり
- ③ネットワークづくり
- ④当事者会、家族会の開催
- ⑤講演会等

4市 / **62市**
中核市の設置状況
(R6年度)

7

岐阜市のひきこもり支援の取り組み

ひきこもり支援連携会議の設置

- ・ 様々な背景や事情に応じた、**多様な支援策**を検討するため設置（年間3回開催）
- ・ 当事者の心情が理解できる委員（家族、家族会、支援者等）で構成
- ・ 令和6年度 ひきこもり地域支援センターの設置に向け検討

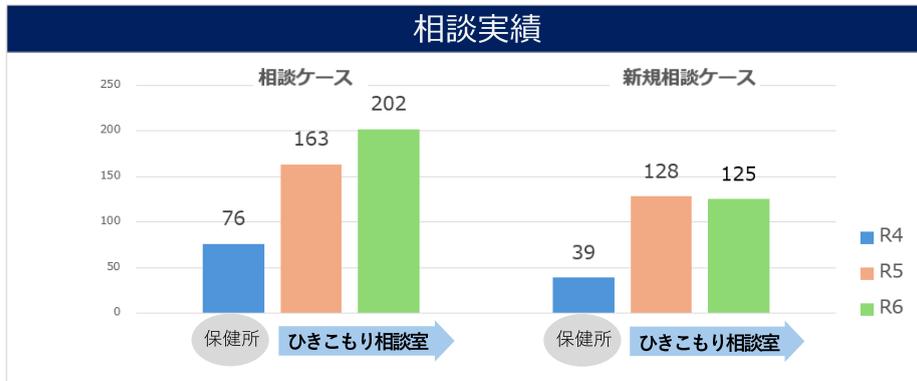


オンライン居場所、家族向け学習・相談会等を予算化

8

岐阜市のひきこもり支援の取り組み

ひきこもり相談室の相談実績①



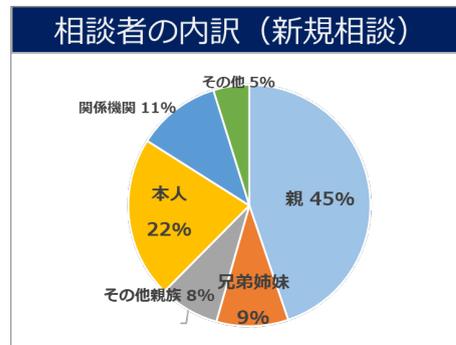
- ・新規相談件数は、相談室設置前（R4）と比べ約3倍
- ・相談室設置後、約250件の新規相談に対応

岐阜市のひきこもり支援の取り組み

ひきこもり相談室の相談実績②



- ・幅広い年齢層から相談
- ・10代、20代と50代以上の相談が増加



- ・親、兄弟姉妹等親族からの相談が約6割
- ・本人からの相談も2割

潜在化し、だれにも相談ができなかった、様々な方から相談

岐阜市のひきこもり支援の取り組み

主な実施事業

家族支援

- ・ 家族の集い ほっとcafe



講演やグループミーティングを通じて家族同士の交流を図る

R7：3回開催(5,7,9月) 平均12名
R6：6回開催(5,7,9,11,2,3月) 平均11名

理解啓発の取り組み

- ・ 市民向け講演会



ひきこもり当事者等の生の声を聴き
ひきこもりへの理解を深める
家族や本人、支援者などが参加

R7：講師 ひきこもり経験者 75名
R6：講師 ジャーナリスト 150名

- ・ 広報紙への特集記事



ひきこもり相談室の紹介
家族や支援者の声を紹介

岐阜市のひきこもり支援の取り組み

令和7年度 機能強化のための新規事業

兄弟姉妹を

対象とした
交流会の開催

オンライン居場所

の開設

ひきこもり相談室の

周知強化

家族向け

学習・相談会の実施

岐阜市のひきこもり支援の取り組み

オンライン居場所の開設

相談者の声

人と会うことが不安、外出が難しい。
対面でなければ、居場所に参加しやすい。

これまでの開催実績（9月末時点）

- ・体験会（2回開催） のべ9名
- ・定期会（2回開催） のべ4名
- ・家族向け学習会（1回開催） 4組

- ・オンライン空間に
社会参加の第一歩となる、居場所を開設
- ・居場所の内容
 - ・定期会や社会参加に向けた企画会
 - ・家族を対象とした、家族向け学習会を開催

参加者の感想

「参加できてよかった」
「次回以降も参加したい」



13

岐阜市のひきこもり支援の取り組み

お知らせ

不明な点はスタッフまでチャットでお問い合わせください。

相談員に個別に相談したい方は、オンライン学習会終了後、【相談員】もしくは、【スタッフ】にお声かけください。相談室1または2でお話を伺います。

今回の企画会は9月25日（木）テーマ「岐阜県ひきこもり地域支援センター」です

今日のテーマは「窮乏になって暮らす」です

オンライン居場所へようこそ

下のオブジェクトをクリックすると岐阜市のひきこもり相談室のHPにリンクします

岐阜市のホームページ

上のオブジェクトをクリックするとシヤーマリスト海上五博館のひきこもり・800の相談～居場所は待っているのか 地域や家族に寄り添った居場所のありかを探ります。実際のオブジェクト 前半 実際のオブジェクト 後半

オンライン居場所の様子

尾関相談員 応対可

退出

14

岐阜市のひきこもり支援の取り組み

定例記者会見での情報発信



地元テレビ局をはじめ、岐阜新聞、中日新聞、読売新聞に関連記事が掲載

15

支援事例

・ 家族支援から本人支援につながった事例（8050世帯）

親から相談室に相談があり、本人へのかかわり方を助言。
家族を通じた本人支援を継続し、その後、本人と面談。伴走型支援を開始。
本人の意向を踏まえ、就労支援を実施し、就労につなげる。

・ 本人への支援から世帯全体への支援につながった事例

支援機関の仲介により、学生時代からひきこもる本人と面談。伴走型支援を開始。
その後、世帯の生活困窮が判明。重層的支援推進室と連携し、世帯への支援を開始。
世帯への生活保護、本人への福祉サービスの導入につなげる。

ひきこもりの状態にある方の、
多様な背景や事情に応じた
伴走型の支援や支援機関の連携が必要

16

ひきこもり支援の今後

ひきこもり相談室の設置効果

○相談件数の増加

これまで相談できなかった、多くの方が相談につながる

○支援機関との連携強化

支援機関等との顔の見える関係づくりに努め、連携を強化
多様な状況にある相談者への支援の充実

今後の展開

○声を出せない本人、家族に支援を届けるための、さらなる取り組み

○「自分の住んでいる自治体には、相談しづらい」といった声への対応

17

相談者の声の紹介



場所がある安心

ついに相談に来れた。

(70代 父)

ずっと孤立を感じていた。
繋がりが、本当に嬉しい。

(50代 母)



話せる安心

モヤモヤを吐き出したい、
と思って。心が軽くなった。

(50代 母)

話を聞いてもらえる場が
あることで、救われている。

(60代 母)



繋がる安心

自分と同じ事を考えている人がいる

(30代 本人)

と分かって安心した。

18

すべての人に「居場所」と「出番」⇒ 幸せに貢献

19

豊田市

太田 稔彦 市長

中核市サミット2025 in 福井

豊田市の地域共生社会に向けた「地域に密着した安心な福祉体制」

2025年10月30日（木）



～ つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた ～

豊田市の概要について

- 豊田市は愛知県のほぼ中央に位置し、愛知県全体の17.8%を占める広大な面積を持つまち。
- 全国有数の製造品出荷額を誇る「クルマのまち」として知られ、世界をリードするものづくり中枢都市。
- 一方、市域のおよそ7割を占める豊かな森林、市域を貫く矢作川、季節の野菜や果物を実らせる田園が広がる、恵み多き緑のまちとしての顔を併せ持つ。

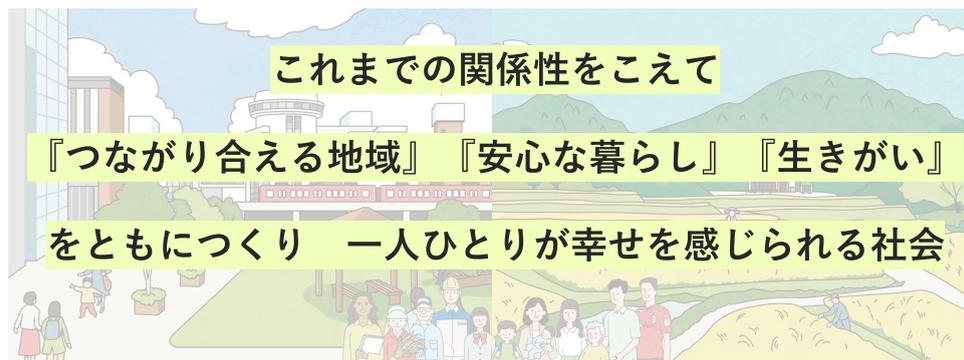


人口 **41万5,138**人 (2025年4月1日時点)
面積 **918.32** km²

- SDGs未来都市 (2018年選定)
- 全国市区SDGs先進度調査 **全国1位** ※①
- 中核市幸福度 **総合1位** (5回連続) ※②
- 共働き子育てしやすい街 **東海1位** (全国8位) ※③



※出典：①日経グローバル(2024)、②(一財)日本総合研究所(2024)、③日経クロスウーマン・日本経済新聞社(2024)



- 2023年に豊田市で開催した「地域共生社会推進全国サミットinとよた」のとよた宣言で提唱。
- 就労を主な機会として全国各地から来た方と昔からの豊田市民の共生を考え、昭和40年頃から一貫して「ふれあい豊かな地域社会づくり」を進めてきたことを土台に。
- 「関係性をこえる」「ともに作る」が推進のキーワード。
- 「①つながり合える地域」「②安心な暮らし」「③生きがい」が重要な枠組み。
- この考え方は、2025年から開始の「第9次総合計画」でも採用（ミライ実現戦略2030 取組目標②）。



豊田おいでんまつり 花火大会

豊田市の地域共生社会に向けた「地域に密着した安心な福祉体制」

つながり合うための「地域づくり」の推進



地域のことは 地域で決める

地域自治システム わくわく事業

- 豊田市では、都市内分権を推進し、地域住民の意見を市政に反映するとともに、地域の課題を地域住民自らが考え解決するための仕組みとして、「地域自治システム」を整備。
- 地域自治システムを進めるための事業の1つとして、「わくわく事業」を実施。
- 当事業では、地域資源（人材・文化・自然など）を活用して、地域課題の解決や地域の活性化に取り組んでいる団体の活動を応援することで、地域住民が自ら考えて実行するきっかけづくりを推進。

地域

こどもの居場所が少ない…
高齢者が孤立している…
環境美化を充実させたい…



①地域の課題を発見

地域

②解決策の検討
③補助金の申請

地域住民（支所等）



④地域・支所審査員による審査
⑤補助金の交付決定

活動補助を通じた支援

- ・市が交付（地域による審査あり）
- ・地域団体が主体で事業を実施

原則
・補助上限額100万円
・補助率90%

年度	R4	R5	R6
実績(件)	268	313	312



こどもの居場所づくり



彼岸花の整備活動

5

地域の課題を事業化し 市と地域の共働で解決

地域自治システム 地域課題解決事業

- 豊田市では、都市内分権を推進し、地域住民の意見を市政に反映するとともに、地域の課題を地域住民自らが考え解決するための仕組みとして、「地域自治システム」を整備。
- 地域自治システムを進めるための事業の1つとして、「地域課題解決事業」を実施。
- 当事業は、地域の声を的確に市の事業に反映させ、地域課題を解決するための仕組み。課題を解決するために必要な事業費を市の予算案に反映し、市と地域が共働で課題解決のための事業を実施。

地域

防災対策、交通安全、防犯対策…
定住対策、高齢福祉、観光交流…



①地域の課題を発見

地域会議

②課題の深堀、解決策の検討
③解決策を市長に提言

豊田市

地域の意見を市に伝える
(支所が地域課題を集約)



④事業検討、予算化

地域×豊田市(共働)

⑤地域と豊田市が共働で事業を実施

年度	R4	R5	R6
実績(件)	68	82	88



豊南：交通安全教室



下山：しもやま魅力発見事業

6



香風溪



上中のしだれ桃



湧水広場の水瀑

豊田市の地域共生社会に向けた「地域に密着した安心な福祉体制」

安心な暮らしを支える「相談支援」



「クルマのまち」として知られる豊田市ですが、香風溪の紅葉を始め、自然の観光資源も豊富です。詳しくは、豊田市公式観光サイト「ツーリズムとよた」で検索



豊田市の地域共生社会に向けた「地域に密着した安心な福祉体制」
安心な暮らしを支える「相談支援」

多様化する地域生活課題への対応の仕組み こども支援にも活用

豊田市の重層的支援体制

- 高齢化の進展、孤独・孤立の増加などを背景に、生活上に生じる福祉的な課題が多様化。そのため、単独の機関や支援者だけでは、対応することが困難に。
- 豊田市では、①地域づくりの促進、②包括的な相談支援、③参加・活躍の支援といった取組を重ね合わせて実施する体制を整え、市民生活を包括的に支援。
- 2025年度からは、第9次総合計画下での重要な取組みの1つとして、本体制を活用し、配慮が必要なこどもに対して包括的に支援できる環境の整備を推進。



取組方針①
ともに『こどものミライに夢と希望』をつくる

取組目標②
誰もがつながり合いの中で安心して自分らしく暮らすことができる



年度	R2	R3	R4	R5	R6
相談件数(件)	2,013	4,931	5,716	6,192	7,051

※よりそい支援課・福祉の相談窓口（行政支所）・コミュニティソーシャルワーカーの合計実績

参考 豊田市の重層的支援体制における構成所属等と庁内・分野横断連携の推進

<p>福祉部</p> <ul style="list-style-type: none"> ● よりそい支援課 <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティソーシャルワーカー ・ 生活困窮者自立相談支援機関 ・ 成年後見支援センター（中核機関） ・ とよた多世代参加支援プロジェクト ● 地域包括ケア企画課 <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅相談ステーション ● 生活福祉課 ● 障がい福祉課 <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者相談支援事業所 ● 高齢福祉課 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括支援センター <p>地域活躍部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域交流課 ○ 多様性社会共創課 ● ジェンダー平等推進センター ● 交通安全防犯課 ○ 都市部エリア5支所（福祉の相談窓口） ○ 山村部エリア6支所 	<p>こども・若者部</p> <ul style="list-style-type: none"> ● こども・若者政策課 ● こども相談課 <ul style="list-style-type: none"> ・ こども・若者総合相談センター ● おやこ応援課 <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">こども家庭センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ● とよた子どもの権利相談室 ○ 保育課 ○ 子育て支援センター <p>保健部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 健康づくり応援課 ● 保健支援課 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動支援センター <p>教育委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 青少年相談センター（パルクとよた） <p>市民部</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 消費生活センター 	<p>美術・博物部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 美術館 ○ 博物館 ○ 民芸館 <p>産業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 産業人材活躍課 <p>消防本部</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (北) 管理課 <ul style="list-style-type: none"> ● …個別支援の円滑な連携を含む形で地域共生社会に向けた取組を推進する所属 ○ …参加支援や地域づくりの観点から地域共生社会に向けた取組を推進する所属
--	--	--

重層的支援会議定例会の様子
(毎回、グループワークを設定)



- 豊田市では、9部35所属（支所・委託先を含む）が連携して、重層的支援体制を構築。
- 庁内・分野横断連携の推進として、2か月に1回くらいの頻度で、定例会を開催。
- 令和7年度からは、①こども支援 ②居場所づくりを年間連携テーマとして設定し、支援体制の充実を検討。



小原 四季桜と紅葉



ふじの回廊



三河湖

豊田市の地域共生社会に向けた「地域に密着した安心な福祉体制」

生きがいや自分らしさを育む「社会参加支援」



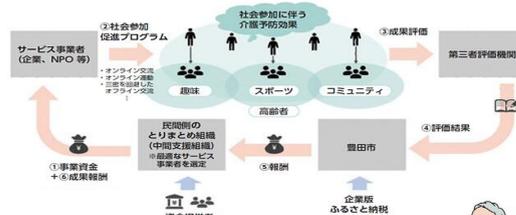
「クルマのまち」として知られる豊田市ですが、香嵐渓の紅葉を始め、自然の観光資源も豊富です。詳しくは、豊田市公式観光サイト「ツーリズムとよた」で検索



日本最大規模 官民連携による介護予防を通じた社会参加

ずっと元気！プロジェクト

- 豊田市では、ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）と呼ばれる委託契約手法により、民間資金を活用し、高齢者に対し介護予防につながる様々なプログラムを提供。
- 当事業では、スポーツ・健康、趣味・エンタメ、コミュニケーション・就労支援などに関わる幅広い民間事業者がサービス提供者となる。
豊田市が設定した介護予防に関する成果が報告されると、その成果に応じて報酬を支払う仕組み。
各事業者は自社のノウハウやアイデアを積極的に活用し、高齢者に魅力ある社会参加プログラムを提供。



- 事業のポイント
- ① 様々な分野のプログラム提供
 - ② 民間リソース・アイデアの積極的活用
 - ③ 成果を客観的に評価（数値化）

	1年目	2年目	3年目	4年目
新規参加者(人)	2,603	5,838	9,068	3,372
継続参加者(人)	411	1,881	9,242	4,520



男性の参加を促すドローン体験

サービスを提供する民間事業者
58 事業所
134 プログラム

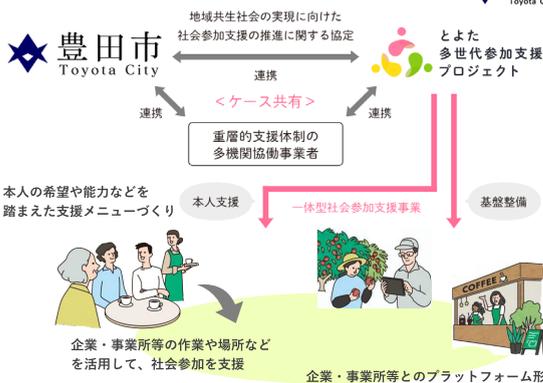
将来の給付費削減額
3.7 億円

※事業開始2年時点での第三者評価機関が試算した額

認知症や障がいなどがあっても 社会に参加し続けるための官民連携活動

とよた多世代参加支援プロジェクト

- 豊田市で取り組む本プロジェクトでは、認知症や障がい、不登校、生活困窮等の様々な方々が自己肯定感や社会での役割を得られるよう、コーディネーターの支援のもと、プロジェクト会員（市内の福祉事業所や企業、農家など）が、居場所や作業等の機会を提供する取組みを実施。
- また、若年性認知症など就労に配慮が必要な方と、企業の「はたらく場」が上手くつながるように、仕事の切り分けや作業補助具の提案、その方の特性への理解促進などの企業側への支援も実施し、就労に配慮が必要な方が活躍できる環境づくりも推進。



カフェのバックヤードと和菓子屋の作業を活用した参加支援

プロジェクト会員数
110 事業所
※2025年9月末時点

農家、生花店、清掃業者、部品製造会社、デザイン会社、コミュニティ電力、飲食店、ビジネスホテル、通信制高校等



つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた



【担当】福祉部 よりそい支援課
電話：0565-34-6791
メール：yorisoi@city.toyota.aichi.jp

参考
情報

豊田市 特選イベント&スポット



豊田市 特選イベント&スポット

地域資源の価値を高め、「WRCのまち」豊田をつくる

世界ラリー選手権ラリージャパン



最新のイベント情報は
ラリージャパン公式HPで御確認ください



世界ラリー選手権(WRC) [World Rally Championship]は、FIA(国際自動車連盟)が統括する、フォーミュラー1世界選手権(F1)、世界耐久選手権(WEC)などの自動車競技の世界選手権の一つです。

本市では、ラリーを「産業振興」「山村振興」「交通安全」などの面で、公益性の高いイベントと考え、ラリーをいかしたまちづくりを進めています。

日本では、2022年11月に愛知・岐阜で開催され、2023年からは豊田でも主催の一員となりました。豊田スタジアムにサービスパークを設置し、三河山間地等を舞台にラリージャパンを開催し、2024年の来場者は54万人に達しました。

世界トップのドライバーが最高のテクニックでコースを攻める様子は、非常にエキサイティングで必見です。

御注目いただくとともに、ぜひ観戦にお越しください。

サービスパーク(豊田スタジアム)



豊田市駅前ファンミーティング



鞍ヶ池公園



稲武地区



伊世賀美隧道
(旧伊勢神トンネル)



魅力創造部 ラリーまちづくり推進課 電話 0565-34-6950

豊田市 特選イベント&スポット

大観衆を感動で包み込む劇場空間

豊田スタジアム



豊田スタジアムは、陸上トラックのない球技専用スタジアムで、名古屋グランパスやトヨタヴェルブリッツのホームスタジアムです。愛知県出身の建築家・黒川紀章氏の設計で、4つのマストで吊る独自の「吊り屋根構造」を採用しており、観戦の妨げとなる支柱を場内から排除し、広々とした視界を確保していることが特徴的です。

Jリーグやリーグワンの公式戦のほか、サッカー・ラグビーの日本代表戦の開催実績があり、ラグビーワールドカップ2019日本大会においては3試合の会場となりました。また、天然芝のピッチは徹底した生育管理をしており、2014年から3年連続で「Jリーグベストピッチ賞」を受賞しています。

美しい曲線を描くスタジアムの意匠は、市街地との動線にある豊田大橋と共に印象的で、まちのシンボルとして市民に親しまれています。

<施設概要>

収容人数	44,380席(可動席あり)
完成	2001年6月25日
利用開始	2001年7月21日
建設費	451億円(土地購入費、公園整備費含む)
面積	中央公園 170,000㎡ 建設面積 40,734㎡ 延床面積 97,004㎡



●豊田スタジアム

住所 豊田市千石町7-2
電話 0565-87-5200
開館 12月28日~1月4日を除く
午前9時~午後9時



最新のイベント情報は
サイト上で御確認ください

魅力創造部 スポーツ振興課 電話 0565-34-6632

豊田市 特選イベント&スポット

世界的に活躍する建築家が設計した2つのミュージアムが並び立つ必見のロケーション

豊田市博物館 ・ 豊田市美術館



俯瞰イメージ 向って左側が博物館、右側が美術館

独創的でありながらも環境に配慮した建築で名高い坂茂(ばん しげる)設計の博物館と、美術館建築の名手・谷口吉生(たにくち よしお)の設計による美術館の二つの名建築が並び立つ他では見られない注目のロケーションです。

庭園は、米国のランドスケープ・デザイナーのピーター・ウォーカーによるもので、景観に一体感と統一感を醸し出し、両館を自然に行き来できるようデザインされています。

豊田市の文化拠点施設として、建築空間とコレクションのどちらも見ごたえのある二つの館を、ぜひ御覧ください。



●豊田市博物館

住所 豊田市小坂本町5丁目80番地
電話 0565-85-0900
開館時間 午前10時～午後5時30分
(入館は午後5時まで)
休館 月曜日(祝祭日の場合を除く)、
年末年始、展示替え休館



詳細情報は
サイト上で御確認ください



●豊田市美術館

住所 豊田市小坂本町8丁目5番地 1
電話 0565-34-6610
開館時間 午前10時～午後5時30分
(入館は午後5時まで)
休館 月曜日(祝祭日の場合を除く)、
年末年始、展示替え休館



詳細情報は
サイト上で御確認ください

豊田市 特選イベント&スポット

21世紀のミュージアムを目指す建築と展示。市民と共に「みんなで作る」博物館

豊田市博物館 (2024年開館)



豊田市博物館は、本市の自然・歴史・産業を幅広く扱う総合博物館。地域のあゆみを受け継ぎ、その魅力を探り、豊田市の人と未来をつくることを目指して、多くの人が集う場として設置されました。博物館と市民・地域・企業が資料収集や展示・体験活動等を共に進めることで、いつまでも新しい発見がある博物館です。キッズスペースやミュージアムショップ、カフェmitsubachiでは、本市の魅力遊び、飲食・ショッピングで楽しむことができます。

【上】常設展示室「よたモノ語り」
【右上】むかしの家 【右下】キッズスペース



日本で最も美しい美術館の一つとも評されるモダニズム建築

豊田市美術館 (1995年開館)



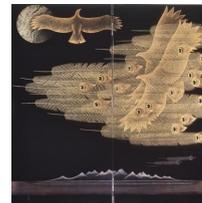
豊田市美術館は、19世紀後半から現代までの国内外の美術やデザイン、工芸のコレクションを有する美術館として1995年に開館しました。以来、鑑賞者一人ひとりが作品と対話し、それぞれの作品との関係をつくり出す場となることを目指して、コレクションの形成、同時代の作家たちとの展覧会やコミッションワーク、市民と共に歩む教育普及活動などを展開してきました。

美術館本館の隣には、漆芸作品を展示する「高橋節郎館」があり、また、庭園内には気軽に抹茶を飲める茶室「童子苑」があるなど、1日ゆっくりと楽しめる美術館です。

ジェニー・ホルツァー《豊田市美術館のためのインスタレーション1995》



グスタフ・クリムト《オイゲニア・プリマフェージュの肖像》
子ども向けギャラリートーク



高橋節郎《星座劇記》

豊田市 特選イベント&スポット

歴史と文化が継承される「足助」で、住民と共に目指す新たなまちづくり
足助重要伝統的建造物群保存地区



足助の町並み(川側)



足助の町並み(街道側)



足助まつり



たんころりん(町並みイベント)



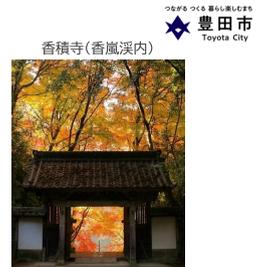
重要文化財旧鈴木家住宅

江戸時代に交通・物流の要所として栄えた足助の町並みは、平成23年に国から重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けました。町並み保存運動は、住民主体で昭和50年代から始まり、時代が移り行く中でその時々の面影を伝え、今も歴史的景観を守っています。地区内にある重要文化財旧鈴木家住宅(令和5年8月部分公開)を、観光や市民の交流拠点として、地域住民と共に新たな暮らしと賑わいづくりを目指しています。



足助城

近隣には、400年前に、三栄和尚がお経を唱えながらモミジや杉をお手植えたことに始まり、その美しい景勝をより良くしようと100年前に住民らが植樹して創りあげた、日本屈指の紅葉の名所である「香嵐渓」(国定公園)や、全国に先駆け、発掘調査に基づいて復元した戦国時代の山城「足助城」があります。歴史・文化・自然が一度に楽しめる「足助」にぜひお越しください。



香積寺(香嵐渓内)

●足助の情報は観光協会HPをご覧ください



●重要文化財旧鈴木家住宅



美術・博物館 文化財課足助分室 電話 0565-62-0609

豊田市 特選イベント&スポット

3つのPPP手法を組み合わせ、魅力創出を実現

鞍ヶ池公園

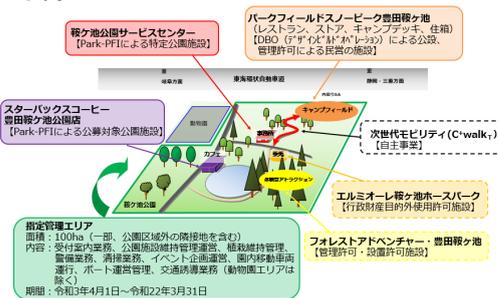


●基本情報
 住所 豊田市矢並町法沢713-2
 電話 0565-80-5310(指定管理者)
 開館 年末を除く午前9時～午後5時(施設により異なる)

各施設の詳細や最新のイベント情報などHPで御確認ください

【特徴】

- ① 官民連携により新しいミライ空間を創出するため、Park-PFI、DBO(デザインビルドオペレーション)、指定管理者制度を組み合わせた事業提案を公募して事業者を決定。
- ② 令和3年5月のリニューアルオープン後、公園づくりを推進するため、市と事業者は毎月、運営協議を実施。公園周辺関係者を交えた公園協議会や、外部識者で構成する評価委員会によりPDCAサイクルを回し、魅力向上の取組を継続しています。
- ③ その結果、マルシェなどイベント開催のみならず、次世代モビリティ(C'walkT)体験乗車、パークウェディング、キャンプ交流イベントなど新たなコンテンツを次々に展開。特に、鞍ヶ池公園で開催する世界ラリー選手権シエイクダウンは多くの人々に賑わっています。



都市整備部 公園緑地課 電話 0565-34-6621

松江市

上定 昭仁 市長

中核市サミット
2025 in 福井

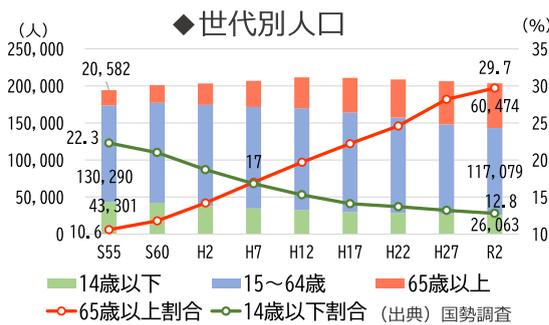
みんなであらう
福祉でまちづくり

令和7年10月30日

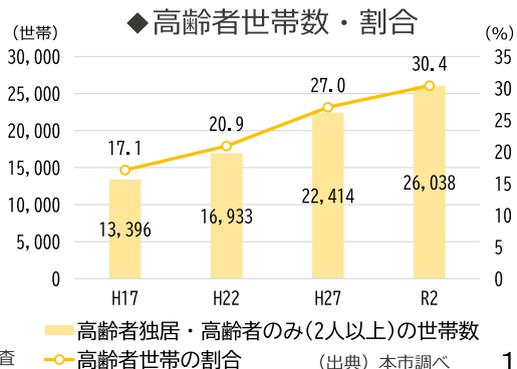
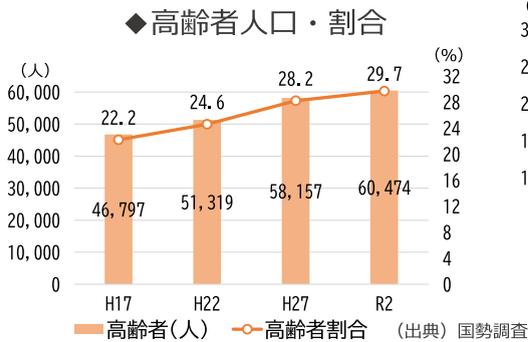
松江市長 上定 昭仁



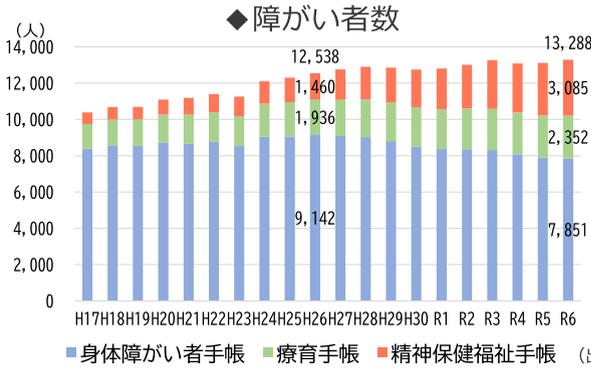
少子高齢化が進行



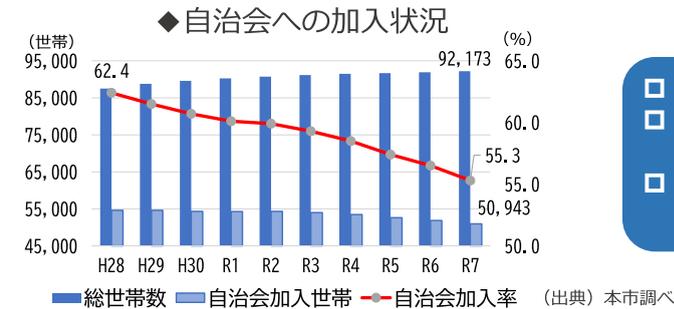
- 65歳以上の高齢者人口は、実数・割合ともに伸長
- 14歳以下の年少人口は、実数・割合ともに減退
- 15~65歳の生産年齢人口は減少し、少子高齢化が進行
- 高齢者人口・割合の伸長に伴い、高齢者独居や高齢者のみの世帯数・割合も伸長



障がい者や自治会の現況



- 障がい者の総数は近年微増
- うち身体障がい者は、平成26年9,142人→令和6年7,851人に減少
- 一方、精神障がい者は、平成26年1,460人→令和6年3,085人と約2倍に増加

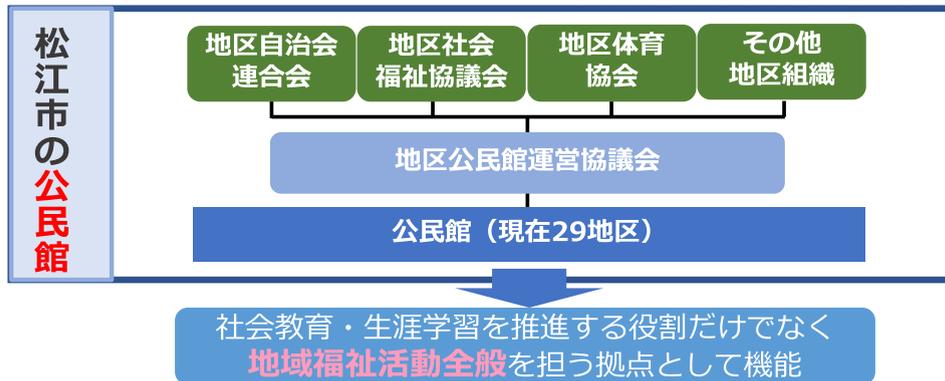


- 総世帯数は増加
- しかしながら、自治会加入世帯数は減少
- それに伴い、自治会加入率が低下

2

公民館が地域を牽引

- 昭和39年 地方財政再建促進特別措置法準用団体 (**財政再建団体**) に指定
- 昭和41年～ 財政再建の一環として、「公設公営方式」であった **公民館** を、「**公設自主運営方式**」へ転換 (平成18年9月指定管理者制度導入)
- 昭和56年 松江市 全小学校区 に **公民館** 設置 (当時21地区: **校区と公民館区一致**)
⇒ **学校にとって地域との連携は不可欠**



【全国の公民館の状況】

- ・運営主体: 教育委員会72.0% 首長部局12.5% **指定管理者11.8%** その他3.7%
- ・設置範囲: 学区を超えた地域26.5% **小学校区26.0%** 中学校区16.0% その他31.5%³

福祉計画の策定

- 平成12年、社会福祉事業法が社会福祉法へ改正され、新たに「**地域福祉計画**」の策定が規定
- 平成13～15年、住民自ら地域課題を把握し解決のための活動をまとめた「**地区地域福祉活動計画**」を、**公民館（地区社会福祉協議会）**が中心となり、**市内全地域**（当時21地区）で策定

松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画 <基本理念>

みんなでやらこい 福祉でまちづくり

- 平成16年、各地区の共通事項や**全市**で取り組むべき課題を反映した「**松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画**」を策定
- 令和6年度、**第6次計画**を策定（計画期間：令和7～11年度）



▲市民ワークショップ

4

福祉計画の策定

福祉でまちづくり とは？

- 公的扶助やサービスといった従来の狭義の「福祉」ではなく、**居場所づくり**や**人と人との交流**も広い意味での「福祉」と定義
- その活動が「**暮らしの基盤**」として地域に根付くことで、顔の見える関係が社会的孤立の解消につながるなど、住民参加の「**福祉コミュニティづくり**」を進め「**共生社会の実現**」を図る



▲認知症カフェ



▲子育ての日（11月19日）ファミリーイベント 5

福祉計画の策定

「共生社会の実現」に向けて
「地域福祉計画」に5つの目標を設定

1. 人づくり・地域づくりを推進する

2. 包括的な支援体制を充実させる

3. 福祉サービスが利用しやすい環境整備を行う

4. 生活課題の解決に向けた取組みを推進する

5. だれもが安心して住み続けられるまちづくりを推進する



▲松江市PRキャラクター
「おまっちゃん」▼



6

活動事例①

多様な主体による地域づくりの推進

まちづくりを考える日

- 市民活動の活性化を目的に、**まちづくりのユニークなアイデアの実践例・成功事例を発表**・共有するイベント
- 令和3年度から開催、令和6年度参加者127人・発表8団体

まちづくりでつながる日

- 地域課題について、**民間企業・NPO・町内会・自治会・社協・行政などが知恵を出し合い、つながるイベント**
- 令和6年度参加者30人

【菅浦手助す一隊（すげうらてごすーたい）】

- 「まちづくりを考える日」において、地域の課題を地域の力で解決する取組みとして事例発表
- 過疎化が進む美保関地区（令和6年高齢化率**48.5%**／市全域**30.9%**）で、移送・買い物支援など有償ボランティアを行う

● **市民活動・地域活動への市民の参画割合**
令和2年9月末現在：44.1% ⇒ 令和6年8月末現在：54.8%



※社会参加活動を行っている人の割合：32.0%
（令和4年 厚生労働省） 7

活動事例②

相談支援体制の充実と多様な機関との連携強化

ふくしなんでも相談所 / ふくしなんでも相談窓口

- 平成29年から実施する、地域住民に身近な分野を問わない総合相談窓口
- 市社会福祉協議会や地域包括支援センターのほか、社会福祉法人や薬局に設置
- 相談内容を踏まえ、最適な専門機関につなぐとともに、単独機関では解決困難な複雑化・複合化した課題については、複数の関係機関が協働・連携して対応
- 令和6年度相談受付件数：277件



● ふくしなんでも相談所設置数
令和3年3月末現在：15か所 ⇒ 令和7年3月末現在：47か所

8

活動事例③

こども・若者が幸せに暮らすための支援

みんなでHAPPY産後ケア（集団型産後ケア）

- 助産師から、産後の身体のケアや赤ちゃんへの関わり方についてのアドバイスを受けるほか、子育て中のママさん同士で情報交換できる集団型のプログラム
- 対象：産後1年未満のママと赤ちゃん
- 利用料：1,000円（非課税・生活保護世帯：無料）
- 開催日：月1回程度（平日）
- 利用回数：7回まで（個別の通所型とは別カウント）
- 開催場所：公民館など地域の施設



● 産後に「うつ気分」がない人の割合
令和5年3月末現在：71.8% ⇒ 令和7年3月末現在：74.5%

9

活動事例④

高齢者が自分らしく生活するための支援・ すべての世代の健康づくりの推進

ほっき健康福祉フェスタ

- 福祉・防災活動が活発な**法吉（ほっき）**地区にて、平成27年から開催する「**ほっき健康福祉フェスタ**」は、多様な関係機関が連携し、**健康啓発**や**健康測定**などのブース出展を行う、住民の手作りイベント
- 健康ブースでは、**健康まつえ21推進隊（※）**のほか、**松江総合医療専門学校**の学生の協力を得て、各種測定や体操を通じたフレイル予防を指導
- 毎年およそ**300**人が来場

（※）**健康まつえ21推進隊**

地域での健康づくりの推進役として全29公民館区で結成
健康づくりイベントの開催や「けんしん」受診勧奨などに取り組む



10

活動事例⑤

高齢者が自分らしく生活するための支援・ すべての世代の健康づくりの推進

なごやか寄り合い

- 町内会・自治会を基盤として、高齢者の生きがいづくり・地域住民の交流の場として市内**360会場**で開催
- 運動や健康づくり講座だけでなく、eスポーツやお茶会など地域独自の様々な活動を実施
- 令和6年度参加者：のべ**32,054**人

からだ元気塾

- 65歳以上の市民を対象に、公民館など市内**36会場**で、週1回実施するフレイル予防のための体操教室
- 送迎があり外出が難しい方も参加しやすく、地域の身近な交流の場として利用
- 令和6年度参加者：のべ**26,481**人

● **要介護認定者数**

平成31年3月末：12,055人 ⇒ 令和7年3月末：11,827人



11

活動事例⑥

生活困窮世帯等への生活支援

フードバンクしまねあったか元気便

- 個人・団体・企業の協力の下、市内小・中学校に通うこどものいる「**就学援助世帯**」に対して、**夏休みなど給食のない長期休暇期間に、米・食料品を支給、学習の場を提供**
 - 就学援助世帯の家庭や子どもたちの孤立を防ぎ自立を支援
 - 対象世帯：**156世帯**
 - 食品提供数量：**27.6トン**
 - 学習の場への参加：**139人**
 - 協力企業・団体：**115団体**
 - ボランティア協力者：**438人**
- ※いずれの数値も令和6年度実績（暫定）



▲子どもたちへの学習支援の様子



▲フードバンクパッキングの様子

● **要保護・準要保護世帯の生徒の高校進学率**
令和3年3月末：97.3% ⇒ 令和7年3月末：97.5%

※生活保護世帯高校等進学率：
 92.5%（令和6年度厚生労働省）

12

活動事例⑦

登校が困難な児童・生徒への学習支援

オンライン学習支援「ボタンねっと」

- 登校が難しい**小学5年生～中学3年生**を対象とする**オンライン**学習支援「**ボタンねっと**」
- “つながる”ことを第一に考え、自分のペースで『学びを進める』
- 5月～3月の平日に配信（長期休業中配信なし）
- 参加者は、学校配付の学習用タブレットまたは家庭所有のタブレット・PCおよびWi-Fi環境を準備してZoomをインストール

● ボタンねっとスケジュール

10:00～「おはようタイム」
 10:30～「まなびタイム」
 11:20～「自主学習タイム」
 <昼休み>
 14:00～「こんにちはタイム」
 14:15～「ムービータイム」
 14:45～「またねタイム」
 15:00 終了



数学

▲配信の様子▲



英語



13

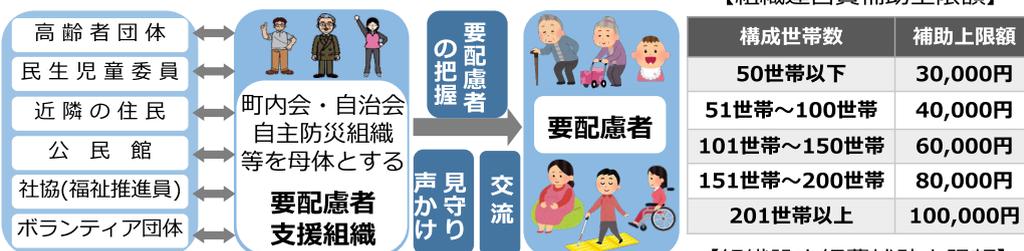
活動事例⑧

災害に備えた体制の充実

要配慮者支援組織

- 町内会・自治会や自主防災組織などの「地域のつながり」を基に、平常時から**要配慮者**（高齢者・障がい者など）の**見守り・声かけ**、災害発生時など**緊急時の支援活動**を行う組織
- 組織運営にかかる経費と組織設立時に必要となる経費を本市が支援（下図参照）
- 組織数：**220組織** □ 地域カバー率：**47.2%**（令和7年4月1日現在）

<組織のイメージ図>



【組織運営費補助上限額】

構成世帯数	補助上限額
50世帯以下	30,000円
51世帯～100世帯	40,000円
101世帯～150世帯	60,000円
151世帯～200世帯	80,000円
201世帯以上	100,000円

【組織設立経費補助上限額】
一律100,000円

- **災害時の安心感を持つ市民の割合**
令和2年9月末：41.4% ⇒ 令和6年8月末：43.3%

14

共生社会の実現に向けて

- 松江市は従来から、**公民館・地区社会福祉協議会**が中心となり、**住民参加**による地域ごとの特性を活かした活動が盛ん
- 特に「地域福祉」に対する意識が高く、住民自ら地域の課題を把握し、課題解決のための活動を取りまとめた**「地区地域福祉活動計画」**を**全29地区で策定**

地域に福祉が根付くまち・松江を形成

- 一方、少子高齢化や生活スタイルの変化などにより**「地域のつながりの希薄化」「地域の担い手不足」**が進展・深刻化



「みんなでやらこい」の精神で、地域・関係者が一丸となり、地域福祉活動を推進してまいります！

▲松江市PRキャラクター「おまっちえ」

15

みんなでやらこい 福祉でまちづくりで
「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」
を創造してまいります！



第6次松江市地域福祉計画・
地域福祉活動計画

【お問い合わせ先】
松江市 健康福祉総務課
☎0852-55-5302

第3会場 発表資料

第3会場

『元気×イノベーション』～未来を創る地域づくり～

コーディネーター



なんぼ まさる
南保 勝氏

仁愛大学人間学部
コミュニケーション学科
特任教授 /
福井県立大学
名誉教授

地方銀行系シンクタンクを経て、2001年より福井県立大学へ。2023年、同大学地域経済研究所長、経済経営学研究科教授を退任し、仁愛大学人間学部コミュニケーション学科特任教授に就任。専門分野 地域経済論、地場産業論、地域研究。主な著書 『地域再生の未来像』単著（晃洋書房、2023年）、『地域経営分析』単著（晃洋書房、2016年）、『福井地域学』単著（晃洋書房、2013年）など多数。博士（経済学）外部講師、審議会・協議会委員など多数。

コメンテーター



しまだ ひろまさ
嶋田 浩昌氏

福井商工会議所 /
福井県経済団体連合会
専務理事

1962年、福井市生まれ。関西大学法学部卒業。中小企業診断士として数多くの企業支援や地域振興に尽力。なかでも2003年、新商品・新サービス開発のヒントを得るために消費者の苦情やクレームを集めた「苦情・クレーム博覧会」事業からは「濡れない傘“ヌレンザ”」などヒット商品が誕生。2019年、中小企業診断協会会長表彰、2021年、経済産業大臣表彰を受ける。2022年より現職。

パネリスト

山形市 佐藤 孝弘 市長

八王子市 初宿 和夫 市長

吹田市 後藤 圭二 市長

趣旨

社会構造や産業構造の変化が進む中、地域が持続的に発展するためには、地域資源を活用し、付加価値を生み出す「地域発イノベーション」の創出が求められています。また、地域におけるイノベーションの創出は経済成長の原動力であるだけでなく、農業や環境、子育て等の社会課題の解決につながることを期待されています。

本パネルディスカッションでは、地域発のイノベーションをいかに育み、地域の強みとして広げていくのか、またイノベーションを創出する仕組みや多様な主体との連携等、中核市の事例発表を踏まえて『元気×イノベーション』～未来を創る地域づくり～について議論を深めます。

山形市

佐藤 孝弘 市長

中核市サミット2025in福井

『元気×イノベーション』～未来を創る地域づくり～

文化を活かした山形発イノベーション “やまがたクリエイティブシティセンターQ1”

令和7年10月30日(木) 山形市長 佐藤 孝弘

山形市の概要



市政施行:明治22年4月

面積:381.58km²

推計人口:237,971人(令和7年8月時点推計)

世帯数:104,810世帯

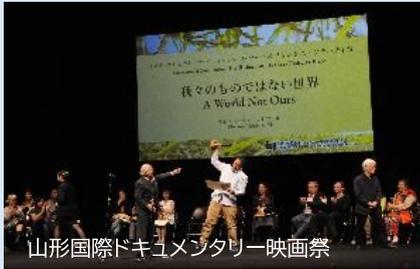
- ・山形県の県庁所在地
- ・奥羽山脈等に囲まれた自然豊かな城下町
- ・東京まで新幹線で3時間弱
- ・隣市は仙台市(政令市)で、電車等で1時間程度

※県庁所在地が隣接している事例は3事例のみ

山形市が目指すまちづくり

健康医療先進都市

文化創造都市



山形国際ドキュメンタリー映画祭



東北芸術工科大学



山形交響楽団



伝統工芸



食文化

ユネスコ創造都市ネットワークに

「映画」分野で加盟(H29.10月～)

など (国内唯一)

3

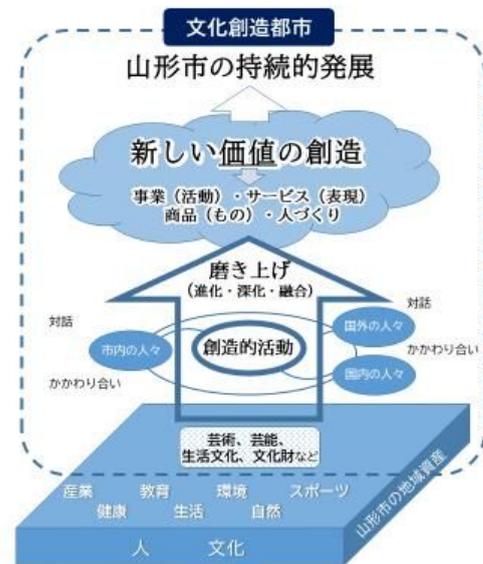
文化創造都市の推進

文化創造都市とは

多様な立場の人々が相互に認め合い、協力しながら、地域の多彩な文化を継承・発展させ、その本質的価値を高めるとともに、文化と他の分野との連携により新しい価値を創出し、地域の活力と魅力を高め、それらの好循環により市民が豊かな心でより質の高い暮らしをすることが出来る持続的発展が可能なまち

Q1プロジェクト推進事業

- ・令和元年度スタート
- ・第一小学校旧校舎をリノベーションし、創造都市やまがたの拠点施設を整備



4

拠点施設の整備① キーパーソン



ばば まさたか
馬場 正尊 氏 (建築家/東北芸術工科大学教授)

リノベーションによる中心
市街地のまちづくり



山形市と東北芸術工科大学に
よる連携協定(H28.11月~)



5

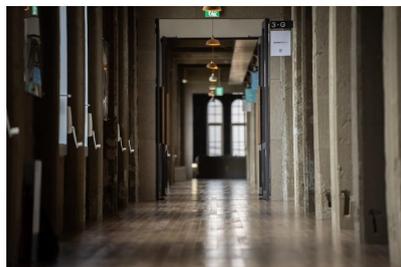
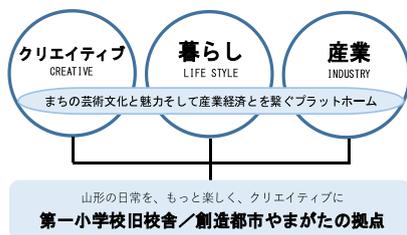
拠点施設の整備② 目指す姿

クリエイティブプラットフォーム

山形市の地域資源を活かした新たな価値の創出を図ることによる、
クリエイティブ産業の創出及び既存産業のリブランディングを目指す。



『クリエイティブと産業を暮らしでつなぐ』



6

拠点施設の整備③ 様々な視点

・文化財の活用

国登録有形文化財に登録されている旧校舎を活用
(昭和2年竣工。山形県下初の鉄筋コンクリート造校舎)

・公民連携の実践

施設整備は山形市
運営は民間会社(株式会社Q1)

・中心市街地活性化への寄与

施設は山形市中心市街地に立地



中心市街地の
ほぼ中央

7

拠点施設「やまがたクリエイティブシティセンターQ1」①

令和4年9月1日オープン



8

拠点施設「やまがたクリエイティブシティセンターQ1」②

3F WORK&DESIGN (デザイン)

オフィス、シェアオフィス、アトリエ、貸会議室 等



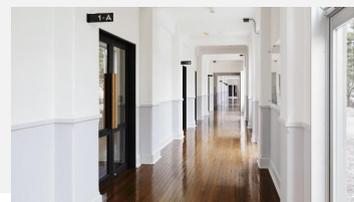
2F PLAY (映像・音楽・メディアアート)

レンタルスペース、アパレル、金工雑貨、探求教室 等



1F LIVE (食文化・文学・クラフト&フォークアート)

カフェ、スーパーマーケット、本屋、アートギャラリー 等



このほか、サークル活動や小規模会合等に利用可能な交流ルームが地下に。

9

新たに創出された価値(テナント×Q1)



株式会社YDK(1階)

山形市内建設会社の家具部門

Q1の改修工事にも関与

クリエイティブ人材の雇用



商品開発、コンペ開催

Q1オリジナルの家具の開発(受注生産)

クリエイティブ人材の活躍の場を生み出すためのコンペ開催



10

新たに創出された価値(テナント×Q1)



ぼた(1階)

コーヒー専門店、カフェの経営

東北芸術工科大学

中心市街地リノベーション実績



Q市(マルシェ)開催

マルシェ開催によるクリエイティブ人材の誘致、中心市街地活性化

11

新たに創出された価値(テナント×Q1)



ペンギン文庫(1階)

仙台市を拠点に活動していた移動本屋の固定店舗

写真や美術、文芸や詩など、通常の本屋にはないオリジナリティのあるラインナップ



トークイベント開催

本に関するトークイベントの開催

12

新たに創出された価値(テナント×Q1)



ESTEM(2階)

小中学生向けの探求教室

将来のクリエイティブ人材の育成

Q1と連携した子ども向け事業の実施

小中学生がQ1を訪れる機会の創出

13

新たに創出された価値(テナント×Q1)



汽水域(2階)

金属工芸の工房兼ショップ

中心市街地別店舗から移転

商品開発、ワークショップ開催

Q1オリジナルブランドのランプ開発

工芸関連ワークショップの開催

14

新たに創出された価値(その他)



など 15

数値実績

■テナント入居状況

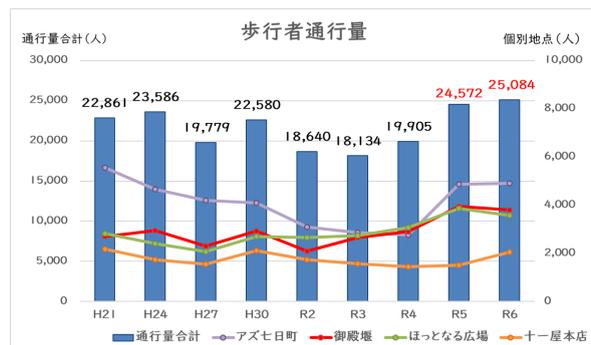
テナント 入居率100% (入居24部屋/全24部屋)
 シェアオフィス 入居率75% (入居9区画/全12区画)

■来館者数

500,234人 (令和4年9月1日~令和7年10月3日)

■中心市街地歩行者通行量

令和6年度 25,084人
 (過去最高)



16

結びに



八王子市

初宿 和夫 市長

地域の魅力を未来へつなぐ
～イノベーション都市・八王子の実現に向けて～

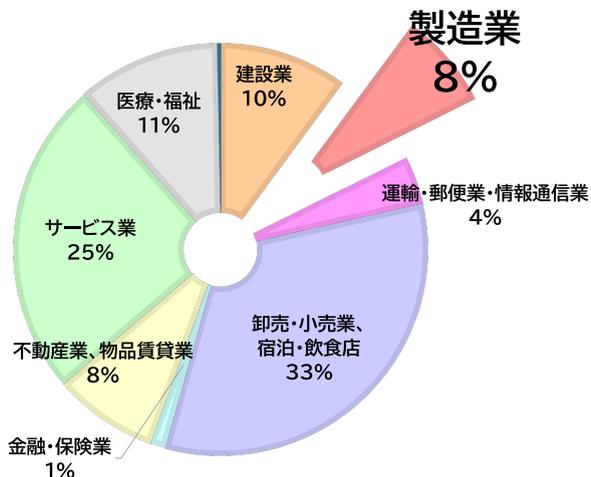


令和7年(2025年)10月30日
八王子市

1 八王子市の産業

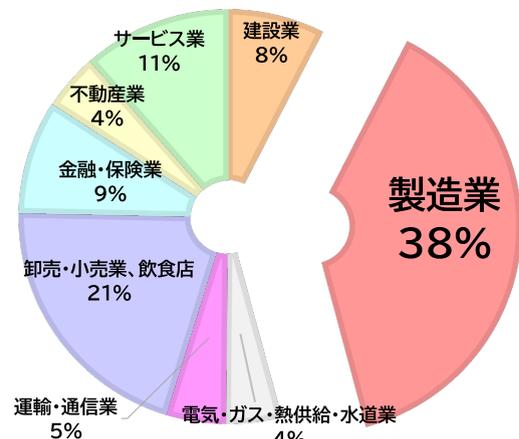
産業別事業所数

出典：令和3年 経済センサス・活動調査 ※公務を除く



法人税割課税額(令和6年度)

出典：令和7年度八王子市税白書



2 八王子市内の主な大企業

企業名	部門
株式会社明治	明治イノベーションセンター
日清食品ホールディングス株式会社	グローバルイノベーション研究センター
株式会社ニッスイ	中央研究所、開発部門、総合工場
オリンパス株式会社	グローバル本社、技術開発センター
コニカミノルタ株式会社	研究・技術開発部門、製造部門
佐藤製薬株式会社	工場
株式会社スリーボンド	本社
株式会社東京精密	本社、工場

3

3 八王子市産業イノベーションプラン ~beyond2030~

計画期間 令和5(2023)年~令和12(2030)年度

基本理念

知識・技術・人材が集い、
新たな産業・
新たなビジネスチャンス・
新たな生活様式を創出する
「イノベーション都市・八王子」

4

3 八王子市産業イノベーションプラン ~beyond2030~

イノベーションとは

- ①プロダクト(製品)
- ②プロセス(製造工程、物流など)
- ③マーケティング
(情報発信、販路開拓など)
- ④組織

のいずれかに変革をもたらすもの

5

3 八王子市産業イノベーションプラン ~beyond2030~

柱1 成長産業の創出

柱2 産業人材の多様化と活用の促進

柱3 地域・社会課題解決マーケットの創造

柱4 地域資源活用で稼ぐ力の強化

柱5 中小企業の持続的な成長支援

6

4 イノベーション創出に向けた事業例

柱2 産業人材の多様化と活用の促進

柱5 中小企業の持続的な成長支援

基本施策③産業人材強化のための教育

基本施策①新しい価値の創造

八王子未来共創プロジェクト研究(R6～)

目的

- 社会経済状況変化に対応できる産業人材の強化
- 新規事業構想のノウハウを身につける
- 地域の持続的な発展



内容

- 大学院の体系的なプログラム(全20回)を通じ、自社の経営資源や地域資源を活用した事業を構想する。 7

4 イノベーション創出に向けた事業例

「高齢者が働けるのは70代まで」を変えたい！
社会に対して「高齢者の気持ちを伝える」事業

事業主体

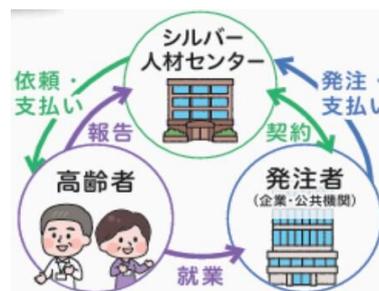
公益財団法人八王子市シルバー人材センター

事業内容

- ①シニア市場の商品開発サポート
- ②研究機関等のエビデンス作成の支援

提供サービス

- ・グループインタビュー
- ・個別インタビュー
- ・製品モニター
- ・アンケート回答



8

5 狙い通りにいかなかった事例

プロダクトデザインプログラム(R5-R6)

目的

- 自社の技術等を活かし、マーケットインの発想に立った「売れる製品づくり」を支援し、経営基盤の強化を図る。

内容

- プロダクトデザイナーとマッチングをし、新製品開発に向けた商品アイデアの創出、試作、ブラッシュアップを行う。
- 販路としてマクアケ(応援購入)を見据え、試作品開発～マクアケ掲載準備を年度内に目指す。

9

5 狙い通りにいかなかった事例

成果 株式会社ウラベエ芸(看板屋)の事例

- プロダクトデザイナーと更なる新製品開発に挑戦
- 「マーケットイン」視点の重要性への気づきを得た
- 翌年度マクアケでクラウドファンディング実施し、目標金額を集め、販売
- ビッグサイトの展示会に出展(新たなチャレンジ)
- 自社の強みを活かし、BtoC製品開発に次々と着手し、全国各地のポップアップショップでの販売、SNSを活用した発信に着手



10

5 狙い通りにいかなかった事例

うまくいかなかった点

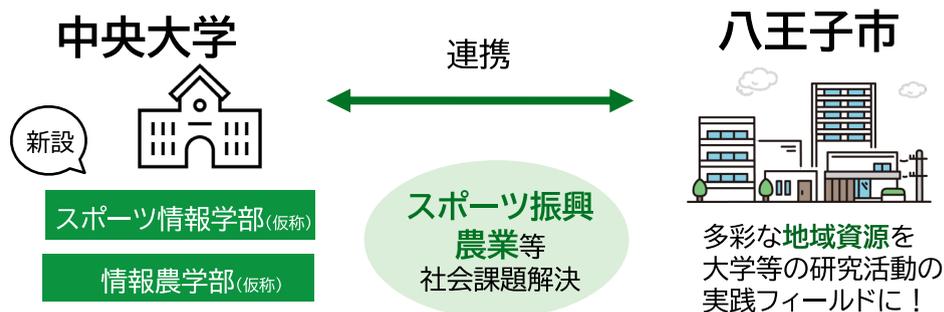
- 1点1点手作りのため、高額なうえ、テストマーケティングの過程でニーズが見込めない ⇒商品化を断念
- 金型製作費など**想定以上のコスト**
⇒**価格、ニーズ、既存事業の問題など開発断念が約半数**

マーケットイン発想やデザインの視点が身についた点では効果はあったが、「売れる製品づくり」を実装までサポートする難しさに直面し、令和6年度で事業を終了した。

11

6 大学との連携によるイノベーションの創出

令和9年(2027年)中央大学・多摩キャンパス
スポーツ情報学部(仮称)・情報農学部(仮称)新設(設置構想中)



「まるごとキャンパス八王子」の実現

12

6 大学との連携によるイノベーションの創出

中央大学スポーツ情報学部(仮称)の特色

※2025年6月時点の情報
設置構想中のため、内容は変更となる可能性があります。

スポーツ×AI・データサイエンスによる
課題解決力を身に付ける体系的な「文理融合型カリキュラム」

- ☑ データを重視した複合的思考力を身に付ける文理横断・融合教育
- ☑ AI・データサイエンス教育の効果を最大化する経験学習の重視
- ☑ スポーツの現場におけるPBL型教育を積極的に推進



「ウェルビーイングで持続可能な社会」の実現

13

6 大学との連携によるイノベーションの創出

中央大学情報農学部(仮称)の特色

※2025年6月時点の情報
設置構想中のため、内容は変更となる可能性があります。

農業×テクノロジーによる「食」「農」「環境」を
キーワードとした新たな農学教育

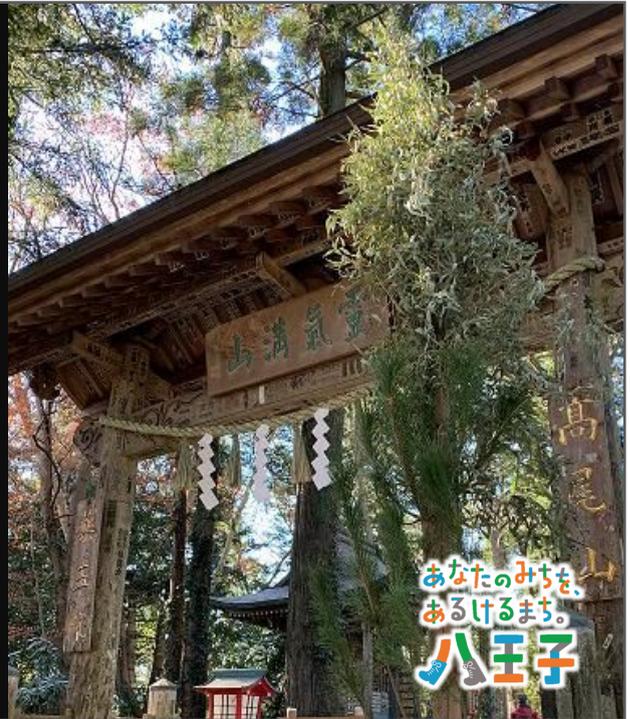
- ☑ 派遣型実践科目による早期体験学習の重視
- ☑ 農・食・環境を取り巻く「法的」「国際」的問題に挑戦する素養の醸成
- ☑ 早期キャリア教育による社会とつながりを重視した教育展開



アグリテックを根幹とした
持続可能な農業の実現

14

ご清聴ありがとう
ございました



吹田市

後藤 圭二 市長

中核市サミット2025 in 福井 2025.10.30

「元気×イノベーション」～未来を創る地域づくり～

まちづくりポリシー 獲得すべき副次効果

吹田市 後藤圭二

1

today's key points

理念は構想前段階に発信

targeting philosophy

税金を呼ぶ非課税施設

marketing branding

人は街の機能に誘因される

Labeling enticement

2

吹田市のご紹介



人口：約38.5万人 (令和7年4月末)
面積：約36平方km

主な特性：

① 交通アクセスに優れたまち

- ・名神高速道路、近畿自動車道などの結節点を有する
- ・JR東海道線のほか様々な交通機関により、関西主要都市のほか、東京をはじめとする国内主要都市へもアクセス容易

② 医療環境が充実したまち

- ・国立循環器病研究センター、大阪大学医学部附属病院をはじめ、医療機関が数多く立地

③ 人口が増加するまち

- ・2030年にかけて人口が増加見込み



JR吹田駅から

大阪駅まで 京都駅まで 三ノ宮駅まで

9分 33分 33分

地下鉄御堂筋線江坂駅から

新大阪駅まで 梅田駅まで 難波駅まで

5分 11分 20分



大阪モノレール山田駅から

大阪空港駅まで



15分



3



4

まちづくり用地23haをどう利用する？

1984 操車場の機能廃止

1999.1 協定締結(大阪府 摂津市 吹田市、鉄道・運輸機構 JR貨物)

2007 まちづくり全体構想 ← 理念明確化

2013 核施設 国立循環器病研究センター 市民病院 移転決定

市環境影響評価条例手続き

2015 実行計画 2019 施設整備完了

5

まちづくり理念

JR大阪駅から約10分

「人口増、**税収増を目的としない**」
周辺に**高層高層商業施設なし**
市格を上げる**人口増加、不動産価値**
医療 健康 教育 文化 **非課税施設が生む副次効果**
高層分譲 **高いニーズ**
ホテル需要

6

人口増 & 収益施設

集合住宅(マンション)

大規模商業施設 ホテル

エンターテイメント施設 飲食 …

「基本的に除外」と当初に宣言

7

固定資産税非課税施設

地方税法348J

公用 公共の用 鉄道 宗教法人 墓地 道路 運
河 上下水道 水路 ため池 保安林 公園 文化
財 大学 学校 図書館 幼保認定こども園 公的
医療機関 学術研究機関 福祉施設 芸術文化
1次産業 …

8

固定資産税非課税施設

地方税法348J

なぜ課税しない？されない？

9

固定資産税非課税施設

地方税法348J

公用 公共の用 鉄道 宗教法人 墓地 道路 運
河 上下水道 水路 ため池 保安林 公園 文化
財 大学 学校 図書館 幼保認定こども園 公的
医療機関 学術研究機関 福祉施設 芸術文化
1次産業 …

10



Northern Osaka Health and Biomedical Innovation Town (NohBIT)

北大阪健康医療都市

健 都

のまちづくりについて

G20 保健大臣会合 2019.6

11

北大阪健康医療都市（健都）



12

北大阪健康医療都市（健都）の施設概要



■ 健都レクリエイト公園・健都ライブラリー



■ 国立循環器病研究センター



■ 健都イノベーションパーク
(国立健康・栄養研究所等)



■ 明和池公園



企業誘致
エリア



緑の遊歩道

← 大阪(約10分)

JR岸辺駅

京都(約30分)→

■ patona 吹田健都



■ 市立吹田市民病院



■ VIERRA 岸辺健都



■ ローレルスクエア
健都ザ・レジデンス/健都ザ・テラス



13



国立健康・栄養研究所
National Institute of Health and Nutrition



国立健康・栄養研究所

- ◆ 医薬基盤研究所と国立健康・栄養研究所を統合し、平成27年度に医薬基盤・健康・栄養研究所として設立。
- ◆ 食事・栄養と身体活動・運動の研究を通して国民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小に貢献。
- ◆ 健康・栄養や健康食品に関する正しい情報を提供し、国民の安心・安全確保に努める。
- ◆ 国民健康・栄養調査や食品の成分分析等、国の仕事に貢献。



医薬基盤研究所

国際文化公園都市(彩都:大阪府茨木市)



国立健康・栄養研究所

北大阪健康医療都市(健都:大阪府吹田市・摂津市)

14

国立循環器病研究センター

- ◆「循環器」を対象とする高度専門医療研究センター

オープンイノベーションの推進により、**循環器疾患の究明と制圧**を目指す。

- ◆「病院」、「研究所」、「オープンイノベーションセンター」を有し、

医療サービスの提供から治療薬・医療機器の研究開発、産学連携による研究成果の社会導出を一体的に進める。

- ◆企業等が入居可能な賃貸ラボとして、センター内に

「オープンイノベーションラボ(OIL)」を整備。

一つ屋根の下で企業との共同研究を強力に推進。



共創の場

JSTの共創の場形成支援プログラム バイオコミュニティ形成実験

オールスター研究センター（国立循環器病研究センターに設置）

- イメージングプラットフォーム
- 健康・医療データプラットフォーム
- AI健康・医薬研究センター

国循 京都大学
医薬健栄研 大阪大学
徳島大学 滋賀医科大学
神戸大学 神戸薬科大学
大阪公立大学

四大疾患の根治とレジリエンス

未来型
総合“健康”
産業都市モデル

実地・リモート (5G)
卓越研究者
健都
自治体

エーザイ ——— 創薬
東和薬品
シスメックス ——— 診断法
ニプロ ——— 機器開発
JSR
CYBERDYNE ——— 遠隔管理
クロスエフェクト
シミック ——— CRO
大阪商工会議所
メディフォード株式会社
みずほ銀行
エア・ウォーター株式会社
興和株式会社
日本セルフケア推進協議会
三菱UFJ銀行
阪急阪神ホールディングス株式会社
JCRファーマ株式会社
ネクスジェン株式会社
一般財団法人阪大微生物病研究会
Wellier株式会社
一般社団法人健都共創推進機構

画像引用元(COI-NEXT国産拠点HP) : <https://www.cocreation-ncvc.jp/vision/>

各機関の調整機能を設立 **(一社) 健都共創推進機構**

産学官民の共創

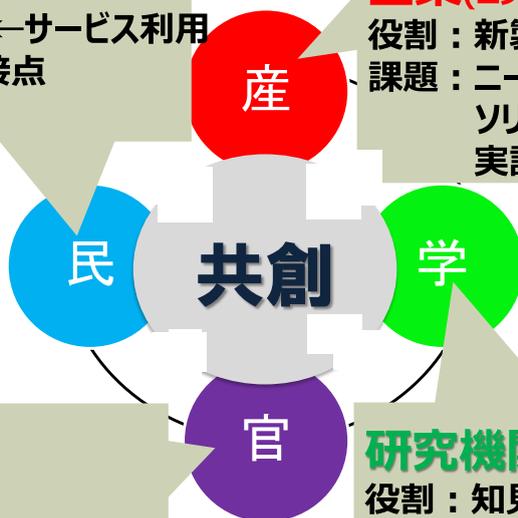


住民

役割：意見提供←サービス利用
課題：産学との接点

企業(ニプロ、エア・ウォーター等)

役割：新製品・サービス提供
課題：ニーズ模索←民 官
ソリューション不足←学
実証の場←民 官



行政・自治体

役割：規制緩和
エリアマネジメント
課題：住民へ情報提供←産 学

研究機関(国循、医薬健康研等)

役割：知見発表 臨床研究
課題：成果の社会実装←産
データ・被験者不足←民

17

国循⇔吹田市 フレイル予防ネット構築

包括的循環器リハビリテーション

急性脳卒中発症後の自宅退院患者の活動量、筋力、
QOL向上を図る地域連携システム



市長 大津理事長

横田医長

副次効果

医療界の認識 ハイブランドエリア

→ 進出意欲 格の向上 **branding**

医療関係者、研究者の居住

→ 税金 住環境 人口増 **impression**

周辺地域の不動産価値向上

→ 固定資産税金増 **city promotion**

地域への好影響

→ 街が変わる **city pride**

幸福を実感できる中核市の実現

～一人ひとりが紡ぐ 希望あふれるまちづくり～

中核市サミット 2025  福井